

HP Mini ユーザー ガイド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。SD ロゴは、その所有者が所有する商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2009 年 7 月

製品番号：537596-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

安全に関するご注意

-
- △ **警告!** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-

目次

1 機能

必要なハードウェアの確認	1
表面の各部	1
タッチパッド	1
ランプ	3
ボタン	4
キー	5
前面の各部	5
右側面の各部	6
左側面の各部	7
ディスプレイの各部	8
裏面の各部	8
無線アンテナ	9
その他のハードウェア コンポーネント	10
ラベルの確認	10

2 電源の管理

電源オプションの設定	12
省電力設定の使用	12
スリープの開始および終了	12
ハイバネーションの開始および終了	13
バッテリー メーターの使用	13
電源プランの使用	14
現在の電源プランの表示	14
異なる電源プランの選択	14
電源プランのカスタマイズ	14
復帰時のパスワード保護の設定	14
外部電源の使用	15
AC アダプターの接続	15
バッテリー電源の使用	16
[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認	16
[バッテリー チェック]の使用	17
バッテリー充電残量の表示	17
バッテリーの着脱	17

バッテリーの充電	18
バッテリーの放電時間の最長化	19
ロー バッテリー状態への対処	19
ロー バッテリー状態の確認	20
ロー バッテリー状態の解決	20
外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	20
充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	20
電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決	20
ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決	20
バッテリー ゲージの調整	21
手順 1: バッテリーを完全に充電する	21
手順 2: ハイバネーションおよびスリープを無効にする	21
手順 3: バッテリーを放電する	22
手順 4: バッテリーを完全に再充電する	23
手順 5: ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする	23
バッテリーの節電	23
バッテリーの保管	24
使用済みバッテリーの処理	24
バッテリーの交換	24
AC アダプターのテスト	25
コンピューターのシャットダウン	25

3 無線機能

無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）	27
無線アイコンとネットワーク アイコンの確認	27
無線コントロールの使用	28
無線スイッチの使用	28
オペレーティング システムの制御機能の使用	28
無線 LAN の使用	29
無線 LAN のセットアップ	29
無線 LAN の保護	29
無線 LAN への接続	31
他のネットワークへのローミング	31
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）	32
SIM の装着	32
SIM の取り出し	33
Bluetooth 無線デバイス（一部のモデルのみ）	35
Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）	35

4 マルチメディア

マルチメディア機能	36
-----------------	----

マルチメディア コンポーネントの確認	36
音量の調整	38
マルチメディア ソフトウェア	39
プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用	39
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	39
オーディオ	40
外付けオーディオ デバイスの接続	40
オーディオ機能の確認	40
動画	42
外付けモニターまたはプロジェクターの接続	42
オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）	43
外付けオプティカル ドライブの確認	43
オプティカル ディスクの使用	43
正しいディスクの選択	44
CD-R ディスク	44
CD-RW ディスク	44
DVD±R ディスク	44
DVD±RW ディスク	44
音楽の再生	45
動画の再生	46
DVD 地域設定の変更	46
CD および DVD の作成または「書き込み」	47
オプティカル ディスク（CD または DVD）の取り出し	48
Web カメラ	49
Web カメラ プロパティの調整	49

5 セキュリティ

コンピューター の保護	51
パスワード の使用	52
Windows でのパスワード の設定	52
[Computer Setup]でのパスワード の設定	52
セットアップ パスワード	53
セットアップ パスワード の管理	54
セットアップ パスワード の入力	55
電源投入時パスワード	55
電源投入時パスワード の管理	56
電源投入時パスワード の入力	57
再起動時の電源投入時パスワード の入力要求	58
[Computer Setup]の DriveLock（ドライブロック）の使用	58
DriveLock パスワード の設定	59
DriveLock パスワード の入力	60
DriveLock パスワード の変更	61
DriveLock 保護 の解除	62

[Computer Setup]のセキュリティ機能の使用	63
システム デバイスのセキュリティ保護	63
[Computer Setup]の嚴重なセキュリティの使用	63
嚴重なセキュリティの設定	64
嚴重なセキュリティによる保護の解除	65
[Computer Setup]のシステム情報を表示する	65
ウイルス対策ソフトウェアの使用	66
ファイアウォール ソフトウェアの使用	67
緊急アップデートのインストール	68
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	69

6 外付けデバイス

USB デバイスの使用	70
USB デバイスの接続	70
USB デバイスの停止および取り外し	71
USB レガシー サポートの使用	71
外付けドライブの使用	72
別売の外付けデバイスの使用	72
別売の外付けマルチベイ II の使用	72
別売の外付けオプティカル ドライブの使用（一部のモデルのみ）	73
オプティカル ディスク（CD または DVD）の挿入	73
オプティカル ディスク（CD または DVD）の取り出し	74
ディスク トレイが開く場合	74
ディスク トレイが開かない場合	75

7 外付けメディア カード

SD カード リーダーでのカードの使用	77
メディア カードの挿入	77
メディア カードの停止と取り出し	78

8 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用	79
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	79
タッチパッドの使用	79
外付けマウスの接続	79
キーボードのファンクション キーの使用	80
画面を切り替える（f2）	81
画面の輝度を下げる（f3）	81
画面の輝度を上げる（f4）	81
スリープを開始する（f5）	81
[QuickLock]を起動する（f6）	81
スピーカーの音を消す（f8）	82
スピーカーの音量を下げる（f10）	82

スピーカーの音量を上げる (f11)	82
テンキーの使用	82
内蔵テンキーの使用	83
内蔵テンキーの有効/無効の切り替え	83
内蔵テンキーの機能の切り替え	83
別売の外付けテンキーの使用	83
タッチ패드およびキーボードの清掃	84

9 ドライブ

取り付けられているドライブの確認	85
ドライブの取り扱い	85
ハードドライブ パフォーマンスの向上	87
ディスク デフラグの使用	87
ディスク クリーンアップの使用	87
[HP 3D DriveGuard]の使用 (一部のモデルのみ)	88
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認	88
[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用	88
ハードドライブの交換	90

10 メモリ モジュール

11 Computer Setup

[Computer Setup]の開始	97
[Computer Setup]の使用	97
[Computer Setup]での移動および選択	97
[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元	98
[Computer Setup]のメニュー	98
[File] (ファイル) メニュー	98
[Security] (セキュリティ) メニュー	99
[Diagnostics] (診断) メニュー	99
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	100

12 バックアップおよび復元

バックアップ	103
復元	105

索引	106
----------	-----

1 機能

必要なハードウェアの確認

コンピューターに付属する部品は、地域やモデルによって異なる場合があります。この章の図には、ほとんどのモデルに共通の機能が示されています。

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

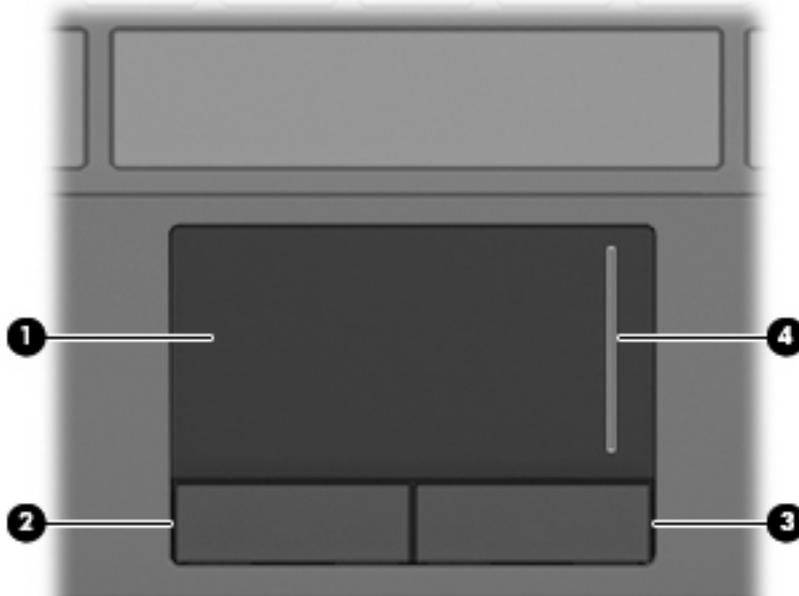
1. [スタート]→[コンピュータ]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側のパネルで、[デバイス マネージャ]をクリックします。

[デバイス マネージャ]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

 **注記：** Windows®には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

表面の各部

タッチパッド



名称	説明
(1) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします

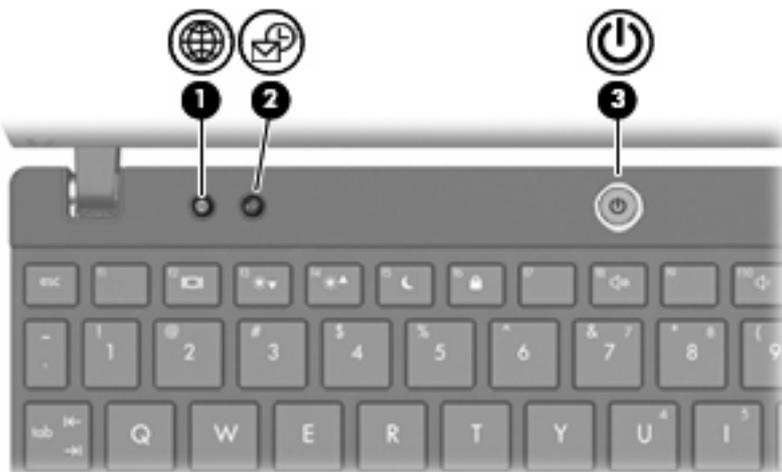
*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]**の順に選択します

ランプ



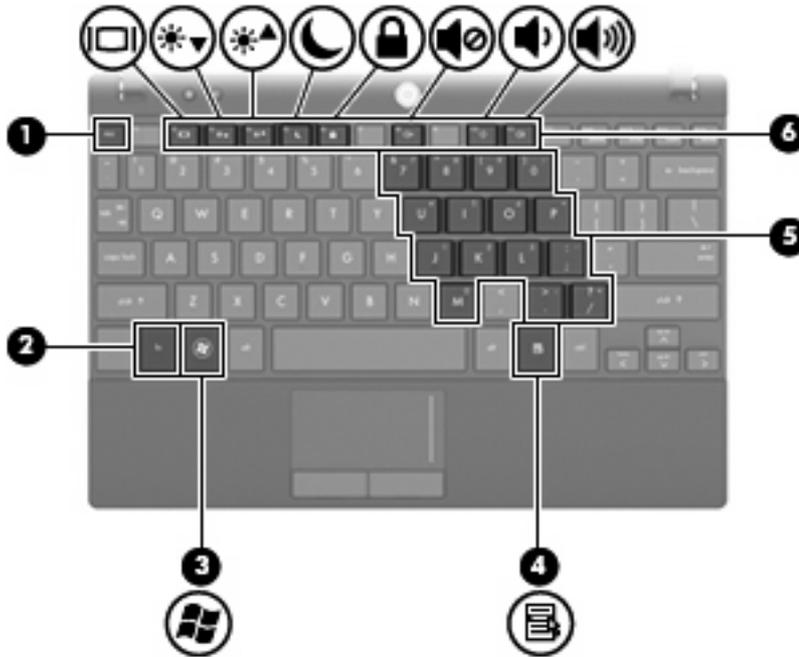
名称	説明
(1) Caps Lock ランプ	点灯 : Caps Lock がオンになっています
(2) クイック ローンチ ウェブ ランプ	点灯 : あらかじめ設定されたインターネット ブラウザーが起動したことを示します
(3) クイック ローンチ メール ランプ	点灯 : あらかじめ設定されたメール アプリケーションが起動したことを示します
(4) 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none">● 点灯 : コンピューターの電源がオンになっています● 点滅 : コンピューターがスリープ状態になっています● 消灯 : コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています

ボタン



名称	説明
(1) クイック ローンチ ウェブ ボタン	コンピューターの電源が入っているときにあらかじめ設定されたインターネット ブラウザーを起動します
(2) クイック ローンチ メール ボタン	コンピューターの電源が入っているときにあらかじめ設定されたメール アプリケーションを起動します
(3) 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none">コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入りますコンピューターの電源が入っているときにボタンを押すと、電源が切れますコンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了しますコンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します <p>コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを 5 秒程度押し続けたままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します</p>

キー



名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) fn キー	esc キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(3) Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4) Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカットメニューが表示されます
(5) 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます。上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです
(6) ファンクション キー	キーのアイコンが表す機能を実行します。

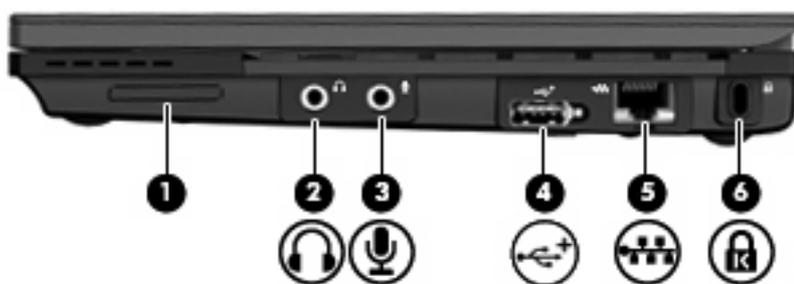
前面の各部



名称	説明
(1) ドライブランプ	点滅：ハードドライブにアクセスしています

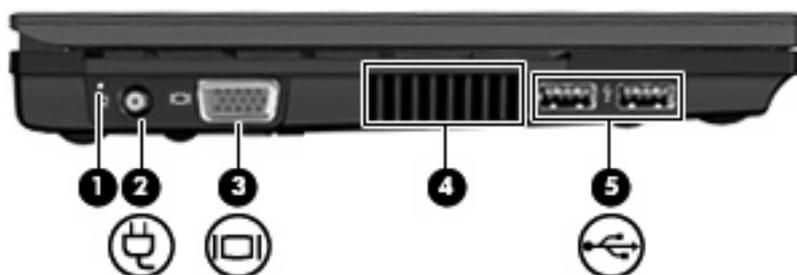
名称	説明
(2) 無線ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 青色：無線 LAN デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています <p>注記： コンピューターの電源が入っていて、すべての無線デバイスがオフになっている場合、無線ランプはオレンジ色になります</p>
(3) 無線スイッチ	<p>無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません</p> <p>注記： 無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります</p>
(4) スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部



名称	説明
(1) SD カードリーダー	<p>以下のフォーマットの別売のメディアカードに対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチメディアカード（MMC） Secure Digital（SD）メモリカード
(2) オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	<p>別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤホン、ヘッドセット、またはテレビオーディオを接続したときに、サウンドを出力します</p> <p>注記： ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります</p>
(3) オーディオ入力（マイク）コネクタ	<p>別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオアレイマイク、またはモノラルマイクを接続します</p>
(4) 電源供給機能付き USB コネクタ	<p>電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、別売の外付け光学ドライブなどの USB デバイスに電源を供給できます</p>
(5) RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワークケーブルを接続します
(6) セキュリティロックケーブル用スロット	<p>別売のセキュリティロックケーブルをコンピューターに接続します</p> <p>注記： セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません</p>

左側面の各部



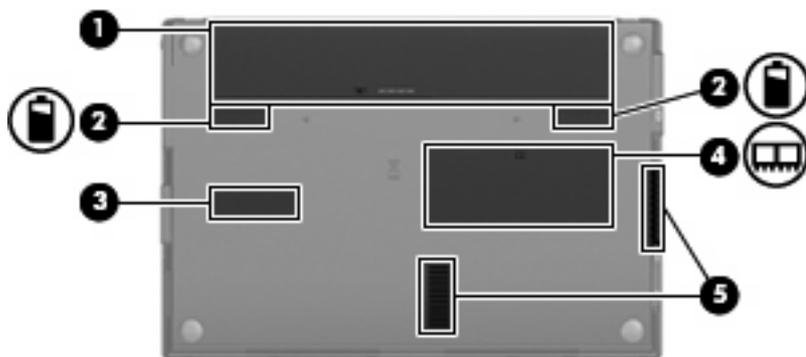
名称	説明
(1) 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none">青色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています青色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(2) 電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(3) 外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(4) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5) USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続します

ディスプレイの各部



名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3) 内蔵マイク (×2)	サウンドを録音します 注記 : それぞれのマイク開口部の横のマイク アイコンは、コンピューターにマイクが内蔵されていることを示しています
(4) スピーカー (×2)	サウンドを出力します

裏面の各部



名称	説明
(1) バッテリー ベイ	バッテリーが装着されています
(2) バッテリー リリース ラッチ (×2)	バッテリーをバッテリー ベイから固定解除します
(3) サービス タグ	お使いのコンピューターの製造元、シリーズ名、シリアル番号 (s/n)、および製品番号 (p/n) が記載されています。これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせるときに必要です。
(4) メモリ モジュール コンパートメント	メモリ モジュール スロットがあります
(5) 通気孔 (×2)	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します

注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の実操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です。

無線アンテナ

一部の機種では、1 台以上の無線デバイスからの信号の送受信に 2 本以上のアンテナが使用されます。アンテナはコンピューターの外側からは見えません。



注記： 転送が最適に行われるようにするため、無線 LAN アンテナおよび無線 WAN アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの地域の無線規定については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

その他のハードウェア コンポーネント



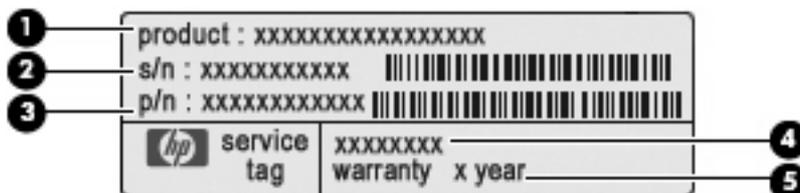
名称	説明
(1) 電源コード*	AC アダプターと電源コンセントを接続します
(2) AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
(3) バッテリー*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します

*バッテリーおよび電源コードは、地域や国によって外観が異なります。このコンピューターを日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品で使用できません。

ラベルの確認

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下のような重要な情報が記載されています。



- (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
- (2) シリアル番号 (s/n)：各製品に一意の英数字 ID です。
- (3) 製品番号 (p/n)：製品のハードウェア コンポーネントに関する特定の情報を示します。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントおよび部品を確認する場合に役立ちます。

- (4) モデル番号：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに必要なになります。
- (5) 保証期間：このコンピューターの標準保証期間が（年数で）記載されています。

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせるときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity : Windows のプロダクト キー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ）：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス、HP ブロードバンド無線モジュール、Bluetooth デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するとき、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルはバッテリー ベイの内側に貼付されています。

2 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、スリープとハイバネーションの2つの省電力状態が出荷時の設定で有効になっています。

スリープが開始されると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、スリープを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリーが完全なローバッテリー状態になった場合、コンピューターはハイバネーションを開始します。

ハイバネーションが開始されると、データがハードドライブのハイバネーションファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクまたは外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

🔌 **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の間は、ネットワーク接続やコンピューター機能の実行が一切できなくなります。。

注記： [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、スリープやハイバネーションは開始されず、画面表示が消えます。

スリープの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が15分間続いた場合、または外部電源の使用時に操作しない状態が30分間続いた場合にスリープを開始するよう出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windowsの[コントロールパネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。

コンピューターの電源がオンの場合、以下のどれかの方法でスリープを開始できます。

- F5 キーを押します。
- [スタート]→[電源]ボタンの順にクリックします。
- [スタート]→[ロック]ボタンの横にある矢印→[スリープ]の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

コンピューターがスリープを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** コンピューターがスリープを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が 1080 分続いた場合、外部電源の使用時に操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、ハイバネーションを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます

ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[ロック]ボタンの横にある矢印の順にクリックします。
2. [休止状態]をクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** ハイバネーションを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

バッテリー メーターの使用

バッテリー メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。バッテリー メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、ポインターを[バッテリー メーター]アイコンの上に移動します。
- 電源オプションにアクセスしたり、電源プランを変更したりするには、[バッテリー メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。

コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリー メーター]アイコンの形の違いで判別できます。アイコンには、バッテリーが完全なロー バッテリー状態になったかどうかのメッセージも表示されます。

[バッテリー メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
2. [通知領域]タブをクリックします。
3. システム アイコンの下で、[電源]チェック ボックスのチェックを外して[バッテリー メーター]アイコンを非表示にするか、[電源]チェック ボックスにチェックを入れて[バッテリー メーター]アイコンを表示します。
4. [OK]をクリックします。

電源プランの使用

電源プランはコンピューターの電源の使用方法を管理するためのシステム設定の集合です。電源プランによって、電力を節約し、パフォーマンスを最大限に向上させることができます。

電源プランの設定を変更したり、独自の電源プランを作成したりできます。

現在の電源プランの表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源プランの選択

- ▲ 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択し、一覧から電源プランを選択します。

電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 電源プランを選択し、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. 必要に応じて、[ディスプレイの電源を切る]および[コンピュータをスリープ状態にする]のタイムアウト設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、[詳細な電源設定の変更]をクリックし、変更を行います。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープまたはハイバネーションの終了時にパスワードの入力を要求するようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[復帰の際パスワードを必要とする]をクリックします。
3. [現在使用できない設定の変更]をクリックします。
4. [パスワードを必要とする (推奨)]をクリックします。
5. [変更の保存]をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

- △ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターを使用してください。

- 認定された AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

- △ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- バッテリーを充電またはバッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が始まります。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの表示が変わりません。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**f4** キーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

AC アダプターの接続

- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

外部電源からコンピューターへの電力供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

外部電源にコンピューターを接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します (1)。
2. 電源コードを AC アダプターに接続します (2)。

3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します (3)。



バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターが AC アダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**f4** キーを使用するか、AC アダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管することも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HP が提供する交換用バッテリー、または HP から購入した対応するバッテリーを使用してください。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認

[ヘルプとサポート]の[ラーニング センター]にある[バッテリー情報]セクションでは、以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリーの性能をテストするための[バッテリー チェック]ツール
- バッテリーの寿命を延ばすための、バッテリー ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリーの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報
- ▲ [バッテリー情報]にアクセスするには、以下の操作を行います。

[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ラーニング センター]→[HP Power and Battery Learning Center] (HP 電源およびバッテリー ラーニング センター) の順に選択します。

[バッテリー チェック]の使用

[バッテリー チェック]は[Total Care Advisor]（トータル ケア アドバイザー）の一部で、コンピューターに取り付けられているバッテリーの状態について情報を提供します。

[バッテリー チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

 **注記：** [バッテリー チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[トラブルシューティング ツール]→[バッテリー チェック]の順に選択します。

[バッテリー チェック]は、バッテリーとそのセルを検査して、バッテリーとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリー充電残量の表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

または

[Windows モビリティ センター]でバッテリー残量の推定使用可能時間（分）を表示します。

- ▲ [バッテリー メーター]アイコンをクリックし、[Windows モビリティ センター]をクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル] →[モバイル コンピューター]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。

時間は、**現在のレベルでバッテリーの電力を使用し続けた場合に**バッテリーを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVD を再生すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

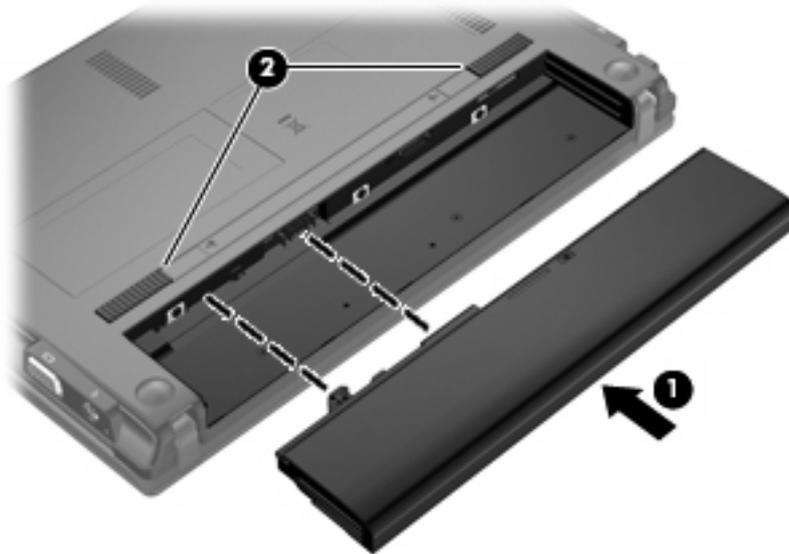
バッテリーの着脱

- △ **注意：** 電源にバッテリーのみを使用している状態でバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを起動するか Windows でコンピューターの電源を切っておいてください。

バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

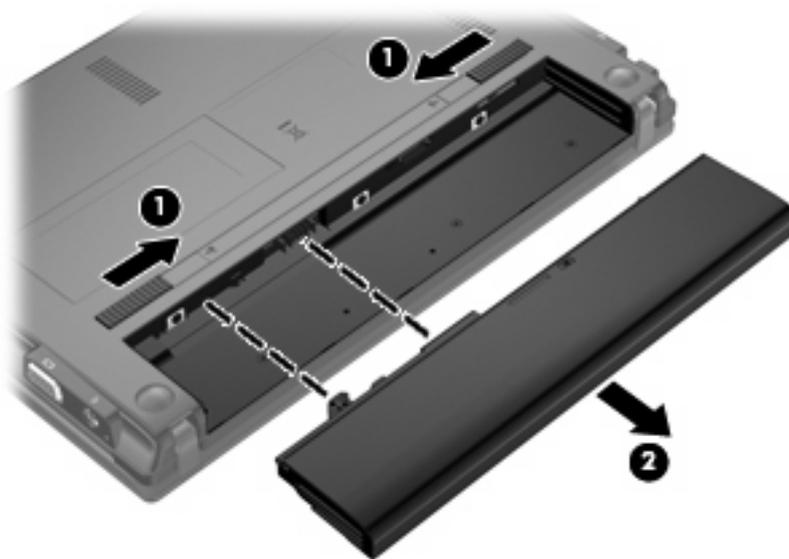
1. コンピューターを裏返し、バッテリーベイが手前を向くようにして安定した平らな場所に置きます。

2. バッテリーを、バッテリー ベイにしっかりと収まるまで挿入します (1)。
バッテリーが装着されると、バッテリー リリース ラッチ (2) が自動的に固定されます。



バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返し、バッテリーベイが手前を向くようにして安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。
3. バッテリー (2) をコンピューターから取り外します。



バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

バッテリーは、コンピューターが外部電源（AC アダプター経由）、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続している間、常に充電されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが消灯するまでバッテリーを充電してください。

 **注記：** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域にあるバッテリー メーターに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行ってください。

バッテリー ランプに以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯：バッテリーが充電中です。
- 点滅：バッテリーがロー バッテリー状態か完全なロー バッテリー状態になっていて、充電されていません。
- 消灯：バッテリーの充電が完了しているか、バッテリーを使用中か、バッテリーが装着されていない状態です。

バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには以下の点に注意してください。

- 画面の輝度を下げます。
- [電源オプション]で[省電力]設定を選択します。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

ロー バッテリー状態を解決しないと完全なロー バッテリー状態に入り、バッテリー ランプが点滅し続けます。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリー状態の解決

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になり、ハイバネーションが開始した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れしないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。
 - コンピューターに付属の AC アダプター
 - 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
 - 別売の電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリーを取り外し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを開始します。
または
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを短く押して、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリーを完全に充電する

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

🔊 **注記：** バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリーを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。
コンピューターのバッテリー ランプが点灯します。
3. バッテリーが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。
充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

手順 2：ハイバネーションおよびスリープを無効にする

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリー駆動]列の[ディスプレイの電源を切る]および[コンピュータをスリープ状態にする]の設定を記録しておきます。
4. [ディスプレイの電源を切る]および[コンピューターをスリープ状態にする]の設定を[しない]に変更します。
5. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
6. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
7. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[次の時間が経過後休止状態にする]の下の[バッテリー駆動]の設定を記録しておきます。
8. [バッテリー駆動]の設定を[なし]に変更します。

9. [OK]をクリックします。
10. [変更の保存]をクリックします。

手順 3 : バッテリーを放電する

バッテリーの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリーは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 通常、省電力設定を利用している場合は、このセクションの手順で放電させると、放電処理中のシステムの動作が以下のようになることに注意してください。
 - モニターは自動的にオフになりません。
 - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
 - システムによるハイバネーションは開始されません。

バッテリーを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリーが放電するまで、バッテリー電源でコンピューターを動作させます。バッテリーの放電が進んでロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリーが放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4 : バッテリーを完全に再充電する

バッテリーを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリーが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。
バッテリーの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておいた方が早く充電が完了します。
2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリーが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5 : ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする

- △ **注意 :** バッテリー ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、コンピューターが完全なローバッテリーの状態になった場合、バッテリーが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。
1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
 2. 現在の電源プランのもとで、[プラン設定の変更]をクリックします。
 3. [バッテリー駆動]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
 4. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
 5. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
 6. [バッテリー駆動]列を、記録しておいた設定に戻します。
 7. [OK]をクリックします。
 8. [変更の保存]をクリックします。

バッテリーの節電

- Windows の[コントロール パネル][電源オプション]で消費電力設定を選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続および LAN 接続をオフにし、モデムを使用するアプリケーションは使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、f3 および f4 キーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリーの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

☞ **注記：** 保管中のバッテリーは6か月ごとに点検する必要があります。容量が50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリーゲージの調整を行ってください。

使用済みバッテリーの処理

△ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリーの廃棄については、『規定、安全および環境に関するご注意』を参照してください。

バッテリーの交換

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[バッテリーチェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリー容量が「ローバッテリー」の状態になったときに、バッテリーを交換するようユーザーに通知します。交換用バッテリーの購入について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。バッテリーが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。

☞ **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、ストレージ充電残量のインジケータが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。

AC アダプターのテスト

コンピューターに以下の現象のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターが AC アダプターに接続されているときにコンピューターの電源が入らない。
- コンピューターが AC アダプターに接続されているときにディスプレイの電源が入らない。
- コンピューターが AC アダプターに接続されているときに電源ランプが点灯していない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. バッテリーをコンピューターから取り外します。
2. AC アダプターを接続します。
3. コンピューターの電源を入れます。
 - 電源ランプが点灯している場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
 - 電源ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用外部電源を入手する方法については、**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[サポート窓口]**の順に選択します。

コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタに接続しない外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切り離す場合

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

☞ **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了させる必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]→[ロック]**ボタンの横にある矢印の順にクリックします。
3. **[シャットダウン]**をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- **ctrl + alt + delete** キーを押し、電源ボタンをクリックします。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切り離し、バッテリーを取り外します。

3 無線機能

無線デバイスの使用（一部のモデルのみ）

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカルエリアネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒーショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカルエリアネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセスポイントと通信します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナルエリアネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距離になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは 802.11b デバイスとの後方互換性があるため、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

 **注記：** 802.11a は 802.11b および 802.11g との互換性はありません。

- Wi-Fi CERTIFIED 802.11n draft 2.0 は最大 300 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g との互換性があります。

 **注記：** 802.11n 無線 LAN の仕様は暫定的なものであり、最終版ではありません。最終仕様が暫定版と異なる場合、コンピューターと他の 802.11n 無線 LAN デバイスとの通信に支障が生じる可能性があります。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク アイコンの確認

アイコン	名前	説明
------	----	----

	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線スイッチの位置を示します
	無線（切断済み）	すべての無線デバイスが無効になっていることを示します
	ネットワーク ステータス（接続済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1つ以上のネットワーク デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク ステータス（切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされているが、どのネットワーク デバイスもネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューターの無線デバイスを制御できます。

- 無線スイッチ
- オペレーティング システムの制御機能

無線スイッチの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線スイッチ、1つ以上の無線デバイス、1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっていて、コンピューターの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。青い無線ランプが点灯している場合は、1つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプがオレンジ色の場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを無線スイッチで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、[Computer Setup]を使用します。

 **注記：** 無線デバイスが[Computer Setup]で無効になっている場合、無線スイッチはそのデバイスを再び有効にするまでは使用できません。

オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。詳しくは、オペレーティング システムの説明書を参照してください。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

 **注記：** お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL または ケーブル）(1) およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）(2)
- 無線コンピューター (3)

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加することができます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高め

る新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにはコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネットサーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティレベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといった無線トランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。

- **無線を暗号化する**

さまざまな種類の高度な暗号化プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、**TKIP** (temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

- **ネットワークを閉じる**

可能であれば、ネットワーク名 (SSID) が無線トランスミッタによってブロードキャスト (送信) されないようにします。ほとんどのネットワークは、最初にネットワーク名をブロードキャストして、利用可能であることを近くのコンピューターに伝えます。ネットワークを閉じれば、お使いのネットワークの存在が他のコンピューターから知られにくくなります。

 **注記：** ネットワークを閉じて SSID がブロードキャストされないようにした場合、新しいデバイスをネットワークに接続するには、その SSID を知っているか覚えていることが必要になります。SSID を書き留めて、許可のない人の目にふれない安全な場所に保管してから、ネットワークを閉じるようにしてください。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが点灯します。無線ランプがオレンジ色の場合は、無線スイッチをスライドさせます。
2. [スタート]→[接続]の順に選択します。
3. 一覧から目的の無線 LAN を選択し、必要に応じてネットワーク セキュリティ キーを入力します。
 - ネットワークのセキュリティ設定がされていない場合は、誰でもこのネットワークにアクセスできるため、警告メッセージが表示されます。警告メッセージを確認し、接続を完了するには、[接続]をクリックします。
 - ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[接続]をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルータまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

注記： 接続したいネットワークが表示されない場合は、[すべての接続の表示]をクリックします。新しいネットワーク接続の作成や、接続の問題のトラブルシューティング方法などを含むオプションの一覧が表示されます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク ステータス アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前、速度、強度、およびステータスを確認できます。

 **注記：** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルータの製造元、およびその他の電子機器ならびに壁や床からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、次のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供される情報や、無線ルータやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- [ヘルプとサポート]で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

企業無線 LAN へのコンピューターの接続について詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）を使用できるので、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイル ネットワーク事業者と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP は、以下のテクノロジーをサポートしています。

- HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM（Subscriber Identity Module）が必要な場合があります。SIM には、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにプリインストールされています。SIM がプリインストールされていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着と取り出しについての詳しい情報は、この章の「SIM の装着」と「SIM の取り出し」の項を参照してください。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属のモバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/mobilebroadband/>（英語サイト）を参照してください。

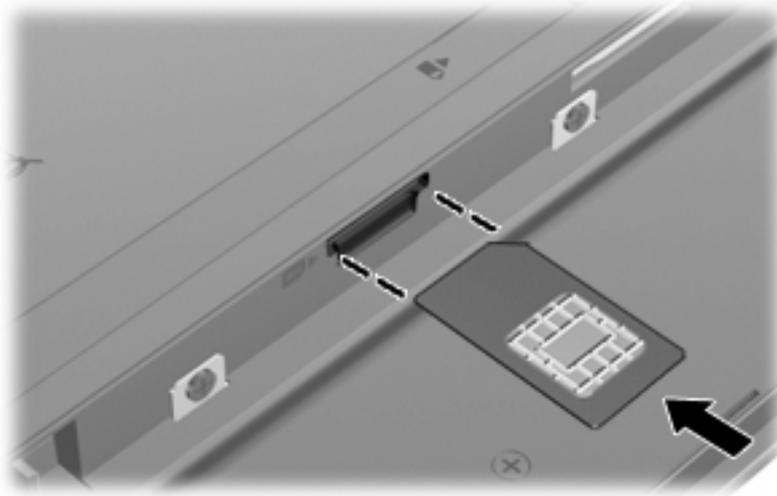
SIM の装着

△ **注意：** コネクタの損傷を防ぐため、SIM を挿入するときは無理な力を加えないでください。

SIM を挿入するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。

5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



8. バッテリーを装着しなおします。

 **注記：** バッテリーを装着しなおしないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

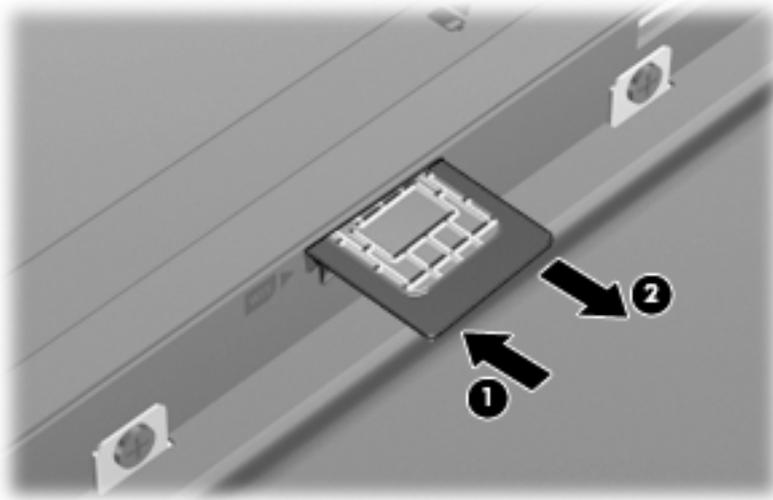
9. 外部電源を接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。

7. SIM をいったんスロットに押し込んで (1)、固定を解除してから取り出します (2)。



8. バッテリーを装着しなおします。
9. 外部電源を接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイス（一部のモデルのみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマートフォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP では**おすすめしません**。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有（ICS）が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

4 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- ボリューム コントロールに関する操作をすばやく行うことのできるファンクション キー

 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。

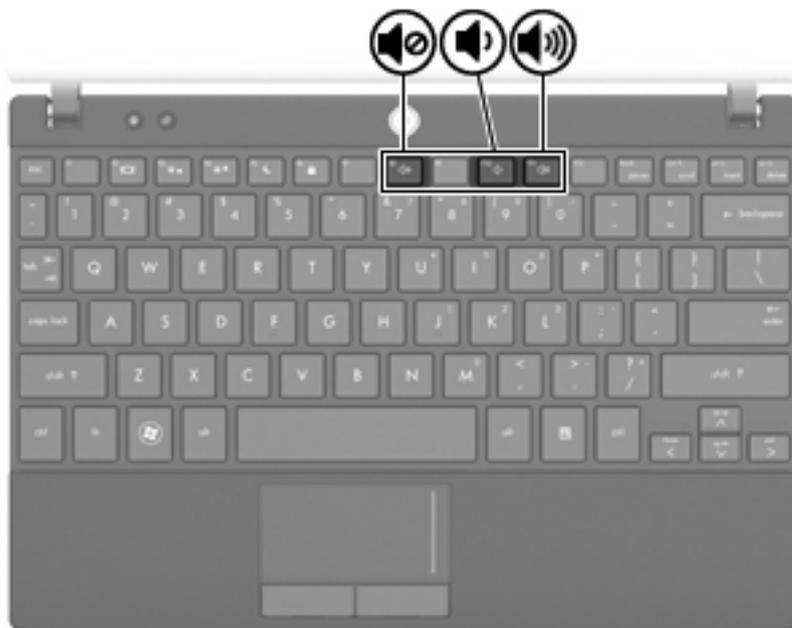


名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3) 内蔵マイク (×2)	サウンドを録音します
(4) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイマイク、またはモノラルマイクを接続します
(5) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを接続したときに、サウンドを出力します
	<p>警告! 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください</p> <p>注記: ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります</p>
(6) スピーカー (×2)	サウンドを出力します

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピューターの音量ファンクションキー：f8 キー (2)、f10 キー (3)、または f11 キー (4) のどれかです。
 - 音を消したり音量を元に戻したりするには、f8 キーを押します。
 - 音量を下げるには、f10 キーを押します。
 - 音量を上げるには、f11 キーを押します。



- Windows の[ボリューム コントロール]：
 - a. タスクバーの右端の通知領域にある[音量]アイコンをクリックします。
 - b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。[ミュート]アイコンをクリックすると、音が出なくなります。または
 - a. 通知領域にある[音量]アイコンを右クリックし、[音量ミキサを開く]をクリックします。
 - b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。[ミュート]アイコンをクリックして音を消すこともできます。[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の操作を行って表示します。
 - a. 通知領域で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
 - b. [通知領域]タブをクリックします。
 - c. [システム]アイコンの下の[音量]チェックボックスにチェックを入れます。
 - d. [OK]をクリックします。
- プログラムの音量調整機能：

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの詳細およびディスクからのインストール方法について説明します。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

 **注記：** ディスクからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、外付けオプティカルドライブがコンピューターに接続されている必要があります。コンピューターの左側面に、電源供給機能付き USB コネクタが1つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けオプティカルドライブに電源を供給できます。外付けオプティカルドライブをコンピューターの他の USB コネクタに接続する場合は、マルチベイに外部電源を接続する必要があります。

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクを外付けオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を要求するメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）またはFM ラジオ信号の受信
- 外付けオプティカルドライブを使用したオーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外部スピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [ハードウェアとサウンド]をクリックします。
3. [サウンド]をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、[サウンド]タブをクリックします。[プログラム]でビーブやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択し、[テスト]ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[サウンド レコーダー]の順に選択します。
2. [録音の開始]をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

- ▲ コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の[サウンド]アイコンを右クリックするか、[スタート]→[コントロールパネル]→[オーディオ]の順に選択します。

動画

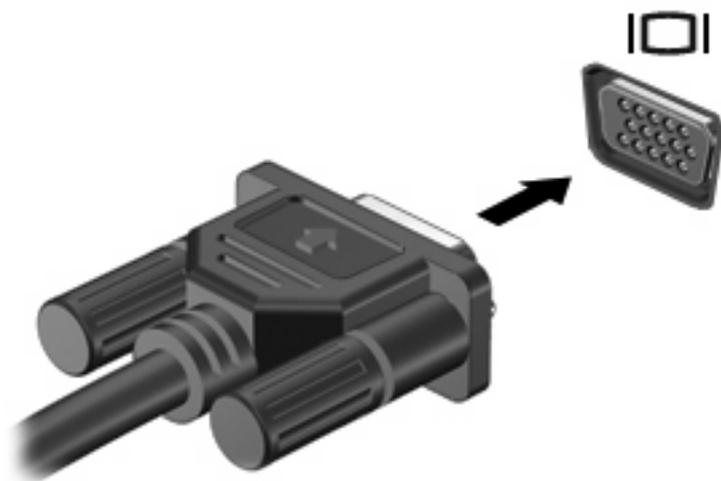
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーション作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



 **注記：** 正しく接続された外付けディスプレイ デバイ스에 画像が表示されない場合は、**f2** キーを押して画像をデバイスに転送します。**f2** キーを繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張する外付けオプティカル ドライブが搭載されている場合があります。外付けオプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクの読み取り、音楽の再生や映画の鑑賞が可能になります。

外付けオプティカル ドライブの確認

▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

接続されている外付けオプティカル デバイスを含む、お使いのコンピューターにインストールされているすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2層記録（DL）対応）

🔍 **注記：** コンピューターによっては、上記の一部のドライブがサポートされていない場合があります。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

外付けオプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。

🔍 **注記：** 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアからの読み取り	CD-R/RW メディアへの書き込み	DVD への書き込み (DVD+R DL、DVD ±RW/R および DVD-ROM メディアを含む)	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可
DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ	可	可	不可	不可
DVD+R/RW ドライブ	可	可	可	不可

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化や情報の損失、または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスクの選択

オプティカルドライブは、オプティカルディスク（CD および DVD）に対応しています。デジタルデータの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD は主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップ用に使用されます。DVD は CD と同じ形態ですが、容量は 6 ～ 7 倍になります。

 **注記：** お使いのコンピューターに接続されている外付けオプティカルドライブによっては、ここで説明しているすべての種類のオプティカルディスクをサポートしていない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R ディスク（一度だけ書き込みの可能な CD）は、恒久的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザーとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオクリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの恒久的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の方法で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を恒久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最も適しています。

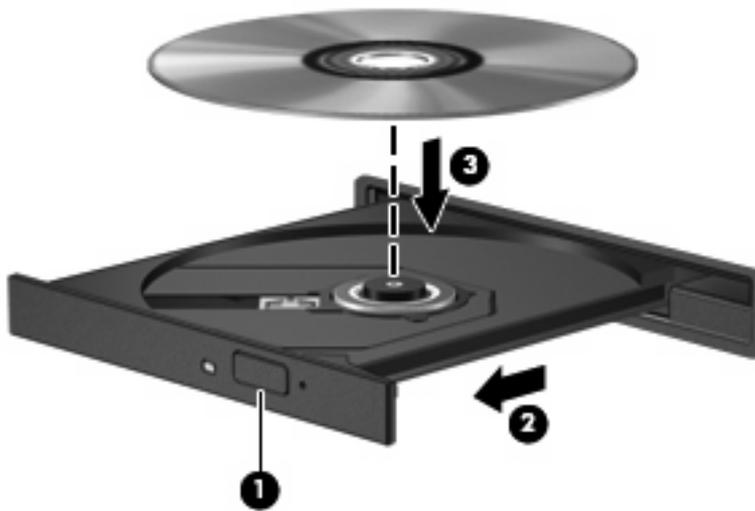
音楽の再生

 **注記：** 以下の手順を開始する前に、外付けオプティカルドライブがコンピューターに接続されていることを確認します。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 外付けオプティカルドライブのフロントパネルにあるリリースボタン(1)を押して、ディスクトレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します(2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます(3)。



6. ディスクトレイを閉じます。
7. 自動再生の動作を設定していない場合は、[自動再生]ダイアログボックスが開き、メディアコンテンツの使用方法を選択するように要求されます。お使いのコンピューターにプリインストールされている[Windows Media Player]を選択します。

 **注記：** ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを間違えて開始した場合、以下のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。
- CDまたはDVDを再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

動画の再生

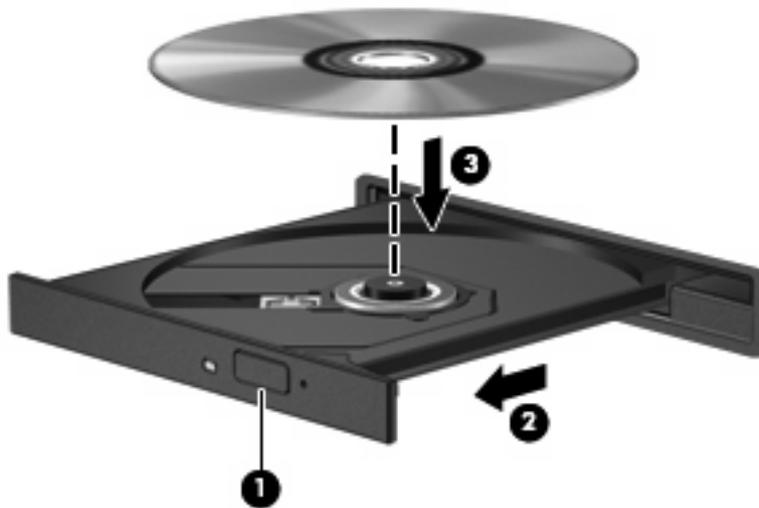
外付けオプティカルドライブから動画を再生するには、ソフトウェアを別途入手する必要があります（製品には付属していません）。

 **注記：** 以下の手順を開始する前に、外付けオプティカルドライブがコンピューターに接続されていることを確認します。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. 外付けオプティカルドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン（1）を押して、ディスクトレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（2）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスクトレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（3）。



6. ディスクトレイを閉じます。

 **注記：** ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピュータ]→[システム プロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャ]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号 (+) をクリックします。
4. [DVD/CD-ROM ドライブ]を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブで地域を変更します。
6. [OK]をクリックします。

CD および DVD の作成または「書き込み」

外付けオプティカル ドライブが CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブである場合は、[Windows Media Player]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[MyDVD]を使用します。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤーは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、お買い上げの DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できません。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD を、外付けオプティカルドライブに挿入します。
3. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. データ、オーディオ、またはビデオなど、作成する CD または DVD の種類を選択します。
5. [スタート]を右クリックしてから[エクスプローラ]の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカルディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

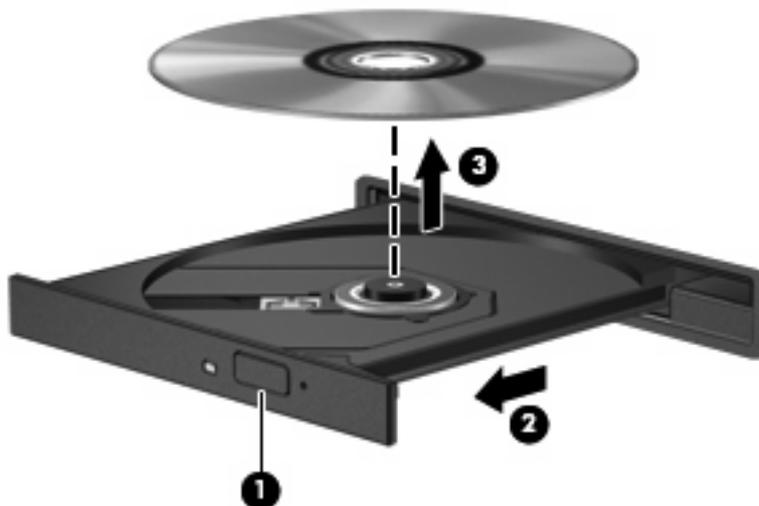
詳しい手順については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータープログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピューターをそのような目的に使用しないでください。

オプティカルディスク（CD または DVD）の取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン（1）を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（2）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（3）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

📖 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

Web カメラ

お使いのモデルのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。さまざまなソフトウェアと共にこの Web カメラを使用すると、以下のような機能を使用できます。

- 動画のキャプチャ
- インスタント メッセージ ソフトウェアを使用したビデオのストリーミング
- 静止画像の撮影

 **注記：** 内蔵 Web カメラに対応するソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

注記： 内蔵 Web カメラに対応するソフトウェアの使用方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照してください。

パフォーマンスを最適にするために、内蔵 Web カメラの使用時は以下のガイドラインを参考にしてください。

- ビデオ チャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。

 **注記：** マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラ プロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティメニューから通常はアクセスできます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、下の情報のダイナミックレンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとより鮮明な画像になり、シャープネスを低く設定するとソフトな画像になります。
- **[ガンマ]**：中間レベルのグレーまたは画像の中間トーンに影響するコントラストを調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレー トーン

の明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。

Web カメラの使用方法については、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

5 セキュリティ

コンピューターの保護

 **注記：** セキュリティ機能に抑止効果はありますが、ソフトウェアを使用した攻撃、またはコンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

注記： 一部の国または地域のコンピューターでは、オンラインセキュリティベースの追跡および復元サービスである[CompuTrace]がサポートされています。コンピューターが盗まれた場合、不正なユーザーがインターネットにアクセスすると、[CompuTrace]による追跡が行われます。[CompuTrace]を使用するには、ソフトウェアを購入し、サービス登録を行う必要があります。[CompuTrace]ソフトウェアの購入については、HP Web サイト <http://www.hpshopping.com/>（英語サイト）にアクセスしてください。

お使いのコンピューターが備えているセキュリティ機能で、コンピューター自体、個人情報、およびデータをさまざまなリスクから保護できます。使用する必要があるセキュリティ機能は、コンピューターをどのように使用するかによって決まります。

Windows オペレーティング システムには、いくつかのセキュリティ機能が用意されています。その他のセキュリティ機能は、以下の表のとおりです。これらのセキュリティ機能のほとんどは、[Computer Setup]ユーティリティで設定できます。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	パスワードまたはスマート カードを使用した電源投入時認証
[Computer Setup] (f10) への不正なアクセス	[Computer Setup]のセットアップ パスワード*
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	[Computer Setup]の DriveLock パスワード*
[Computer Setup] (f10) の各種パスワードの不正な再設定	[Computer Setup]の厳重なセキュリティ機能*
オプティカル ドライブ、フロッピー ディスク ドライブ、または内蔵ネットワーク アダプターからの不正な起動	[Computer Setup]のブート オプション機能*
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">ファイアウォール ソフトウェアWindows Update
[Computer Setup]の設定およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	[Computer Setup]のセットアップ パスワード*
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

*[Computer Setup]は、コンピューターの電源投入時または再起動時に f10 キーを押してアクセスするユーティリティであり、Windows が起動する前に機能するユーティリティです。[Computer Setup]の項目間を移動したり項目を選択したりするには、コンピューターのキーを使用する必要があります。

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を守るために選択する文字列です。情報へのアクセスを制限する方法に応じて、複数の種類のパスワードを設定できます。パスワードは Windows で設定するか、コンピューターにプリインストールされた、Windows が起動する前に機能する [Computer Setup]ユーティリティで設定することができます。

- △ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除する際に表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります

[Computer Setup]の機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数の[Computer Setup]機能に同じパスワードを使用することもできます。

[Computer Setup]でパスワードを設定する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- [Computer Setup]で設定するパスワードは、[Computer Setup]のプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよび[Computer Setup]のパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーン セーバのパスワードなど、Windows のパスワードについては、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

Windows のパスワード	機能
管理者パスワード*	Windows の管理者レベルのアカウントへのアクセスを保護します
ユーザー パスワード*	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します

*Windows の管理者パスワードまたは Windows のユーザー パスワードの設定については、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

[Computer Setup]でのパスワードの設定

[Computer Setup]のパスワード	機能
セットアップ パスワード	[Computer Setup]へのアクセスを保護します
電源投入時パスワード	コンピューターの起動や再起動、またはハイバネーションの終了時にコンピューターのデータを保護します

[Computer Setup]のパスワード	機能
DriveLock の master password (マスタ パスワード)	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。また、DriveLock による保護の解除に使用します。このパスワードは DriveLock を有効にする操作の過程で設定します
DriveLock の user password (ユーザ パスワード)	DriveLock によって保護されている内蔵ハードドライブへのアクセスを保護します。DriveLock を有効にする操作の過程で設定します

セットアップ パスワード

[Computer Setup]のセットアップ パスワードは、[Computer Setup]内の各種設定とシステム識別情報を保護します。このパスワードを設定した場合は、[Computer Setup]にアクセスして変更を行うときにパスワードを入力する必要があります。

セットアップ パスワードには以下のような特徴があります。

- [Computer Setup]のセットアップ パスワードと Windows の管理者パスワードには同じ文字列を使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除するときに画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、ファンクション キーの下にある数字キーを使用してセットアップ パスワードを設定した場合、その後内蔵テンキーを使用して入力しても同じ文字として認識されません。
- 32 文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

セットアップパスワードの管理

セットアップパスワードは、[Computer Setup]で設定、変更、および削除できます。

このパスワードを管理、設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Setup Password]**（セットアップパスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - セットアップパスワードを設定するには、**[New password]**（新しいパスワード）フィールドと**[Verify new password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
 - セットアップパスワードを変更するには、**[Old password]**（現在のパスワード）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[New password]**フィールドおよび**[Verify new password]**フィールドにパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
 - セットアップパスワードを削除するには、**[Old password]**フィールドに現在のパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
3. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

セットアップパスワードの入力

[Setup password]（セットアップパスワード）画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用してセットアップパスワードを入力し、**enter** キーを押します。セットアップパスワードを3回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード

[Computer Setup]の電源投入時パスワードは、コンピューターの不正使用を防止します。このパスワードを設定した場合は、コンピューターの電源を入れたときに毎回パスワードを入力する必要があります。

電源投入時パスワードには以下のような特徴があります。

- パスワードは、設定、入力、変更または削除するときに画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って電源投入時パスワードを設定した場合、その後内蔵テンキーを使用して入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

電源投入時パスワードの管理

[Computer Setup]を使用して、電源投入時パスワードを設定、変更、および削除できます。

このパスワードを管理、設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Power-On password]**（電源投入時パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを設定するには、**[New password]**（新しいパスワード）フィールドと**[Verify new password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを変更するには、**[Old password]**（現在のパスワード）フィールドに現在のパスワードを、**[New password]**フィールドと**[Verify new password]**フィールドに新しいパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを削除するには、**[Old password]**フィールドに現在のパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
3. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

電源投入時パスワードの入力

電源投入時パスワードの入力画面が表示されたら、電源投入時パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して入力し、**enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

再起動時の電源投入時パスワードの入力要求

電源投入時パスワードは、コンピューターの電源を入れたときだけでなく、コンピューターを再起動するたびに入力を要求するように設定できます。

[Computer Setup]でこの機能を有効または無効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Password options]**（パスワード オプション）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して**[Require password on restart]**（再起動時にパスワードを要求する）フィールドの**[Enable]**（有効）または**[Disable]**（無効）を選択し、**f10** キーを押します。
4. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

[Computer Setup]の DriveLock（ドライブロック）の使用

△ **注意：** DriveLockで保護されているハードドライブが永久に使用できなくなることを防ぐため、DriveLockの user password（ユーザパスワード）と master password（マスタパスワード）を、紙などを書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。DriveLockパスワードを両方とも忘れてしまうと、これらのパスワードで保護されているハードドライブがロックされたままになり、永久に使用できなくなります。なお、master password と user password を両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要がある場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

DriveLockで保護することにより、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止できます。DriveLockによる保護はコンピューター本体のベイに取り付けられているハードドライブにのみ設定できます。いったん DriveLockによる保護を設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLockのパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなく、コンピューターに装着しておく必要があります。

DriveLockによる保護をコンピューターの内蔵ハードドライブに設定するには、[Computer Setup]で user password および master password を設定しておく必要があります。DriveLockによる保護を設定するときは、以下の点に注意してください。

- いったん DriveLockによる保護を設定すると、user password または master password のどちらかを入力することでのみ、保護されているハードドライブにアクセスできるようになります。
- user password は、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザーが設定する必要があります。master password は、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザーが設定できます。
- user password と master password は、同じであってもかまいません。
- DriveLockによるドライブの保護を解除しないと、user password や master password を削除できません。DriveLockによるハードドライブの保護を解除するには、master password が必要です。

🔍 **注記：** 電源投入時パスワード（Power-on password）と DriveLockパスワードの両方に同じパスワードを使用している場合、電源投入時パスワードと DriveLockの user password の両方の入力ではなく、電源投入時パスワードの入力のみを要求されます。

DriveLock パスワードの設定

[Computer Setup]で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して[**Security**]（セキュリティ）→[**DriveLock passwords**]（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 保護するハードドライブが搭載されているベイを選択して、**f10** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して[**Protection**]（保護）フィールドの[**Enable**]（有効）を選択し、**f10** キーを押します。
5. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、**f10** キーを押します。
6. user password を[**New password**]（新しいパスワード）フィールドと[**Verify new password**]（新しいパスワードの確認）フィールドに入力して、**f10** キーを押します。
7. master password を[**New password**]フィールドと[**Verify new password**]フィールドに入力して、**f10** キーを押します。
8. 選択済みのドライブに対する DriveLock の保護を確定するには、確認用のフィールドに「DriveLock」と入力して、**f10** キーを押します。
9. 矢印キーを使用して[**Esc**]（終了）を選択し、DriveLock 設定を終了します。
10. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

DriveLock パスワードの入力

ハードドライブが、別売のドッキング デバイスや外付けマルチベイではなくコンピューター本体のハードドライブ ベイに装着されていることを確認します。

[DriveLock Password] (DriveLock パスワード) 画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して user password または master password を入力し、**enter** キーを押します。

パスワードを 2 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターの電源を切ってから再び起動し、入力しなおしてください。

DriveLock パスワードの変更

[Computer Setup]で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[DriveLock passwords]**（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して内蔵ハードドライブの場所を選択し、**f10** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して、変更するパスワードのフィールドを選択します。**[Old password]**（現在のパスワード）フィールドに現在のパスワードを入力してから、**[New password]**（新しいパスワード）フィールドと**[Verify new password]**（新しいパスワードの確認）フィールドに新しいパスワードを入力して、**f10** キーを押します。
5. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

DriveLock 保護の解除

[Computer Setup]で DriveLock の設定値にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[DriveLock passwords]**（DriveLock パスワード）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して内蔵ハードドライブの場所を選択し、**f10** キーを押します。
4. 矢印キーを使用して**[Protection]**（保護）フィールドの**[Disable]**（無効）を選択し、**f10** キーを押します。
5. **[Old password]**（現在のパスワード）フィールドに master password を入力し、**f10** キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]のセキュリティ機能の使用

システム デバイスのセキュリティ保護

[Computer Setup]の[Boot options]（ブート オプション）メニューまたは[Port options]（ポート オプション）メニューから、システム デバイスを有効または無効にできます。

[Computer Setup]でシステム デバイスを無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して[**System Configuration**]（システム コンフィギュレーション）→[**Boot options**]または[**System Configuration**]→[**Port options**]の順に選択します。次に、**enter** キーを押してから、矢印キーを使用して設定を選択します。
3. 設定を確定するには、**f10** キーを押します。
4. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[**File**]（ファイル）→[**Save Changes and Exit**]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]の嚴重なセキュリティの使用

- △ **注意：** コンピューターが永久に使用不能になる事態を回避するために、設定されたセットアップパスワード、電源投入時パスワード、またはスマートカード PIN を記録して、コンピューターとは別の他人の目にふれない安全な場所に保管しておいてください。これらのパスワードまたは PIN がなければ、コンピューターのロックを解除することはできません。

嚴重なセキュリティ機能を使用すると、システムへのアクセスを許可する前に、設定済みのセットアップパスワード、電源投入時パスワード、またはスマートカード PIN を使用してユーザー認証を実行することによって、電源投入時のセキュリティを強化できます。

厳重なセキュリティの設定

[Computer Setup]で厳重なセキュリティを有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Password options]**（パスワード オプション）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して、**[Stringent security]**（厳重なセキュリティ）フィールドで**[Enable]**（有効）を選択します。
4. 警告メッセージが表示されます。続行するには、**f10** キーを押します。
5. コンピューターの電源を入れるたびにこの機能を有効にするには、**f10** キーを押します。
6. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

厳重なセキュリティによる保護の解除

[Computer Setup]で厳重なセキュリティによる保護を解除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Password options]**（パスワード オプション）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して**[Stringent security]**（厳重なセキュリティ）フィールドで**[Disable]**（無効）を選択し、**f10** キーを押します。
4. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Save Changes and Exit]**（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]のシステム情報を表示する

[Computer Setup]の[System Information]（システム情報）機能は、以下の2種類のシステム情報を表示できます。

- コンピューター モデルについての識別情報
- プロセッサ、キャッシュ サイズおよびメモリ サイズ、システム ROM についての仕様情報

これらのシステム情報全般を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[System Information]**の順に選択し、**enter** キーを押します。

 **注記：** この情報への不正なアクセスを防ぐには、[Computer Setup]でセットアップパスワードを作成する必要があります。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューターウイルスの危険にさらされます。コンピューターウイルスに感染すると、オペレーティングシステム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを更新する必要があります。

コンピューターウイルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウイルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピューターおよび個人用ファイルに関する情報を、第三者が不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、またはファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

 **注記：** 状況によっては、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急アップデートのインストール

△ **注意：** お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

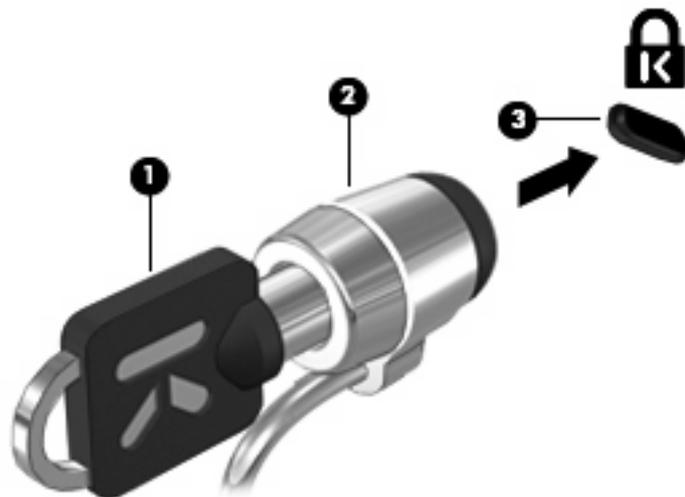
オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- [Windows Update]を毎月実行して、Microsoft から最新のソフトウェアをインストールします。
- アップデートがリリースされる度に、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

注記： セキュリティ ロック ケーブルは、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

1. セキュリティ ロック ケーブルを固定された物体に巻きつけます。
2. 鍵 (1) をケーブル ロック (2) に差し込みます。
3. ケーブル ロックをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵を回転させてケーブル ロックを固定します。



6 外付けデバイス

USB デバイスの使用

USB (Universal Serial Bus) は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インターフェイスです。

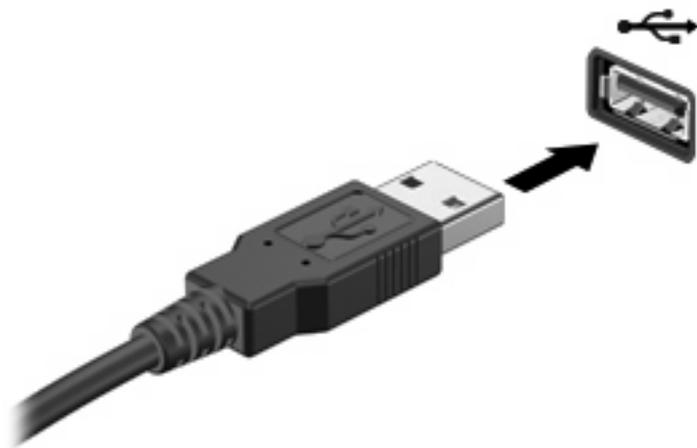
USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについては、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

お使いのモデルのコンピューターには 2 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。USB ハブには、コンピューターで使用できる USB コネクタが装備されています。

USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスに接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

☞ **注記：** 初めて USB デバイスを接続した場合は、デバイスがコンピューターによって認識されたことを示すメッセージが通知領域に表示されます。

USB デバイスの停止および取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、USB デバイスを取り外すときは、まずデバイスを停止してください。

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときにケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスの停止および取り外しを行うには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

 **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン（[<]または[<<]）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** 一覧に表示されない USB デバイスを取り外す場合、デバイスを停止する必要はありません。

3. [停止]→[OK]の順にクリックします。

4. デバイスを取り外します。

USB レガシー サポートの使用

USB レガシー サポート（初期設定で有効に設定されています）を使用すると、以下のことができます。

- コンピューターの起動時、または MS-DOS®ベースのプログラムやユーティリティでの、コンピューターの USB コネクタに接続された USB キーボード、マウス、またはハブの使用
- 別売の外付けマルチベイまたは別売の USB 起動可能デバイスからの起動または再起動

USB レガシー サポートは出荷時の設定で有効になっています。USB レガシー サポートを無効または有効にするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

2. 矢印キーを使用して[System Configuration（システム コンフィギュレーション）]→[Device Configurations]（デバイス コンフィギュレーション）を選択し、**enter** キーを押します。

3. 矢印キーを使用して USB レガシー サポートを有効または無効にし、**f10** キーを押します。

4. 設定を変更して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択してから、画面の説明に沿って操作します。

設定は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。USB ドライブを追加するには、コンピューターの USB コネクタに接続します。

注記： HP の外付け USB オプティカル ドライブを、コンピューターの左側面にある電源供給機能付き USB コネクタに接続する必要があります。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+RW および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW ドライブ
- マルチベイ デバイス

別売の外付けデバイスの使用

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けデバイスをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

注意： 電源付きデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れ、電源コードが抜けていることを確認してください。

1. デバイスをコンピューターに接続します。
2. 電源付きデバイスを接続する場合は、接地した電源コンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

電源付きでない外付けデバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後、コンピューターからデバイスを取り外します。電源付き外付けデバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後にコンピューターからデバイスを取り外し、電源コードを抜きます。

別売の外付けマルチベイ II の使用

外付けマルチベイ II をコンピューターの USB コネクタに接続して、マルチベイ II デバイスを使用できます。コンピューターの左側面に、電源供給機能付き USB コネクタが 1 つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けマルチベイ II に電源を供給できます。外付けマルチベイ II をコンピューターの他の USB コネクタに接続する場合は、マルチベイ II に外部電源を接続する必要があります。

外付けマルチベイ II について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

別売の外付けオプティカル ドライブの使用（一部のモデルのみ）

外付けオプティカル ドライブをコンピューターの USB コネクタに接続して、オプティカル ディスク（CD および DVD）を使用できます。コンピューターの左側面に、電源供給機能付き USB コネクタが 1 つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けオプティカル ドライブに電源を供給できます。外付けオプティカル ドライブをコンピューターの他の USB コネクタに接続する場合は、マルチベイに外部電源を接続する必要があります。

DVD-ROM ドライブなどの外付けオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクでは、情報を保存または転送したり、音楽や映画を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

以下の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル ディスクからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアからの読み取り	CD-R/RW メディアへの書き込み	DVD への書き込み (DVD+R DL、DVD ±RW/R および DVD-RAM メディアを含む)	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可
DVD/CD-RW コンボドライブ	可	可	不可	不可
DVD±RW/CD-RW コンボドライブ	可	可	可	不可

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピューターでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

また、情報の損失を防ぐため、CD や DVD への書き込み時にスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、以下のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

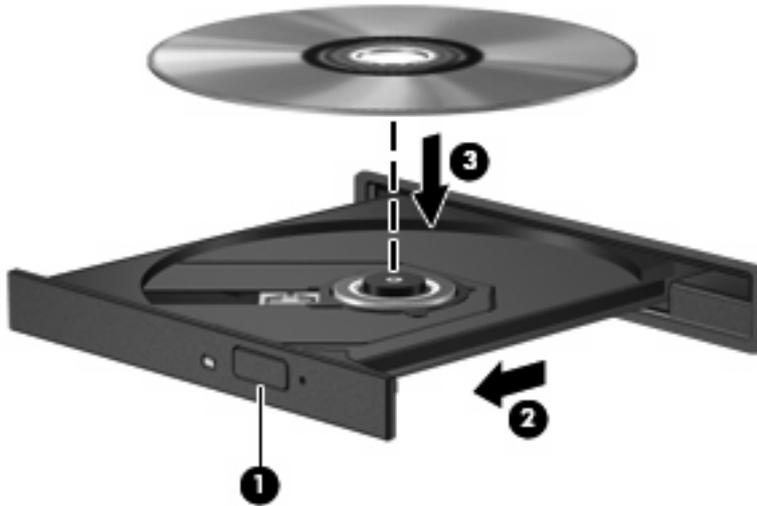
オプティカル ディスク（CD または DVD）の挿入

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。

4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスクトレイを閉じます。

光学ディスク (CD または DVD) の取り出し

ディスクを取り出す方法は2通りあり、ディスクトレイが通常の操作で開く場合と開かない場合によって異なります。

ディスクトレイが開く場合

1. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン (1) を押してディスクトレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。

2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



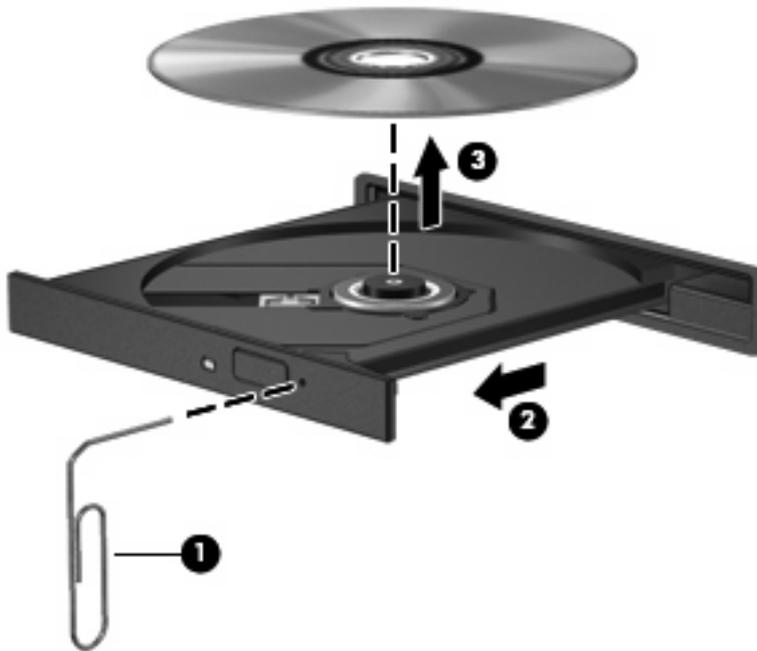
3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスクトレイが開かない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。

3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

7 外付けメディアカード

SD カードリーダーでのカードの使用

別売のメディアカードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタルメディア対応のカメラやPDAなどでよく使用されます。

SD カードリーダーは以下のフォーマットに対応しています。

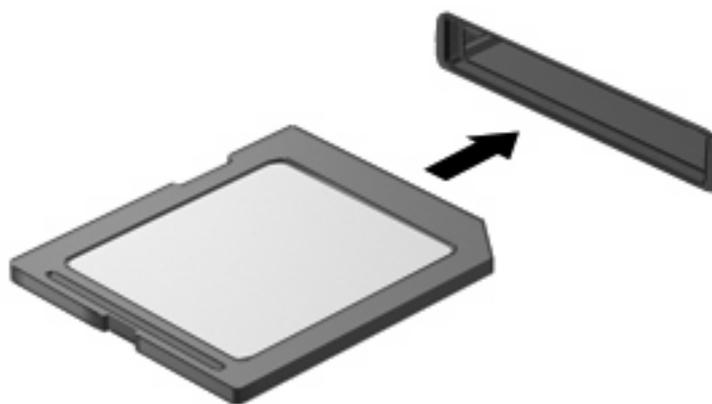
- マルチメディアカード (MMC)
- Secure Digital (SD) メモリカード

メディアカードの挿入

△ **注意：** SD カードおよびコンピューターの損傷を防ぐため、SD カードスロットには、どのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意： メディアカードコネクタの損傷を防ぐため、メディアカードを挿入するときは無理な力を加えないでください。

1. メディアカードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. カードをSDカードリーダーに挿入し、しっかり収まるまでカードを押し込みます。



デバイスが検出されたときに音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディアカードの停止と取り出し

△ **注意：** データの消失やシステムの応答停止を防ぐため、メディアカードを取り出す前にカードを停止してください。

1. 情報を保存し、メディアカードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

📖 **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティングシステムの[コピーしています]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

2. メディアカードを停止します。

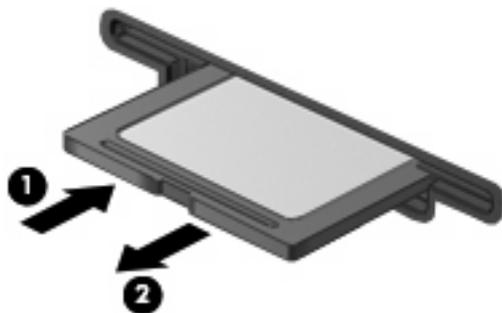
- a. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

📖 **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域にある[隠れているインジケータを表示します]アイコン ([<]または[<<]) をクリックします。

- b. 一覧からメディアカード名をクリックします。

- c. [停止]をクリックし、[OK]をクリックします。

3. メディアカードを押して固定を解除し (1)、カードを引いてスロットから取り出します (2)。



8 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

 **注記：** ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすのみでは、スクロール機能はアクティブになりません。

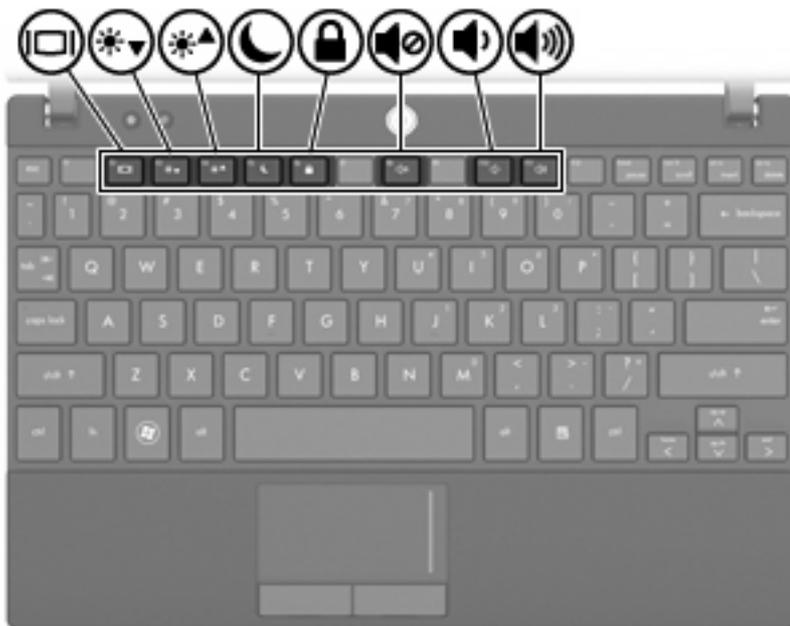
外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

キーボードのファンクション キーの使用

f2 ~ f6、f8、f10、および f11 の各ファンクション キーのアイコンは、ファンクション キーを押したときに実行される機能を表しています。以下の表およびセクションでは、ファンクション キーについて説明します。

 **注記：** お使いのコンピューターの外観は、図と多少異なる場合があります。また、以下の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なります。



ファンクション	キー
コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの画面を切り替える	f2
画面輝度を下げる	f3
画面輝度を上げる	f4
スリープを開始する	f5
[QuickLock] (クイックロック) を起動する	f6
コンピューターの音を消したり元に戻したりする	f8
コンピューターの音量を下げる	f10
コンピューターの音量を上げる	f11

画面を切り替える (f2)

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、f2 キーを押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合に f2 キーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。f2 キーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が f2 キーでサポートされます。かつこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (コンピューター本体のディスプレイ)
- 外部 VGA (ほとんどの外付けモニター)

画面の輝度を下げる (f3)

f3 キーを押すと、画面の輝度を下げることができます。キーを押したままにすると、輝度が少しずつ下がります。

画面の輝度を上げる (f4)

f4 キーを押すと、画面の輝度を上げることができます。キーを押したままにすると、輝度が少しずつ上がります。

スリープを開始する (f5)

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、f5 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピューターがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始するには、コンピューターの電源が入っている必要があります。

スリープ状態を終了するには、電源ボタンを短く押すか、またはキーボードの任意のキーを押します。

f5 キーの機能は変更することができます。たとえば、f5 キーを押すと、スリープではなくハイバネーションを開始するように設定することもできます。

[QuickLock]を起動する (f6)

f6 キーを押すと、[QuickLock]のセキュリティ機能が起動します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、パスワードが入力されるまでコンピューターにアクセスできません。

🔒 **注記：** [QuickLock]を使用する前に、パスワードを設定する必要があります。

[QuickLock]を使用するには、f6 キーを押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピューターをロックします。次に、画面の説明に沿ってパスワードを入力し、コンピューターにアクセスします。

スピーカーの音を消す (f8)

f8 キーを押してスピーカーの音を消します。スピーカーの音量を元に戻すには、もう一度このキーを押します。

スピーカーの音量を下げる (f10)

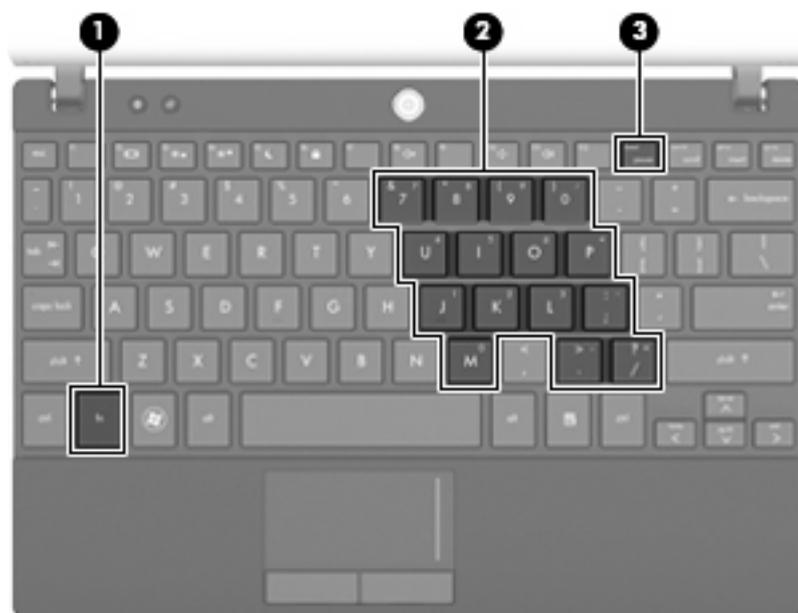
f10 キーを押してスピーカーの音量を下げます。このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカーの音量を上げる (f11)

f11 キーを押してスピーカーの音量を上げます。このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。

テンキーの使用

このコンピューターにはテンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。



名称	説明
(1) fn キー	内蔵テンキーのキーまたは shift キーと組み合わせて押すと、内蔵テンキーのキーの機能が切り替わります
(2) 内蔵テンキー	外付けのテンキーと同じように使用できます（上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです）
(3) num lk キー	内蔵テンキーを有効にします

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキーの 15 個のキーは、外付けテンキーと同様に使用できます。内蔵テンキーが有効になっているときは、テンキーを押すと、そのキーの手前側面にあるアイコン（日本語キーボードの場合）で示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、**fn + num lk** キーを押します。**fn + num lk** キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

 **注記：** 外付けキーボードまたはテンキーがコンピューター、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品に接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

fn キーまたは **fn + shift** キーを使用して、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能を一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効になっているときにテンキーの機能をテンキー入力機能に変更するには、**fn** キーを押したままテンキーを押します。
- テンキーが有効な状態でテンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、以下の操作を行います。
 - 小文字を入力するには、**fn** キーを押したまま文字を入力します。
 - 大文字を入力するには、**fn + shift** キーを押したまま文字を入力します。

別売の外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lock がオンのときとオフのときとで機能が異なります（出荷時設定では、Num Lock はオフになっています）。たとえば、以下のようになります。

- Num Lock がオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lock がオフのときは、矢印キー、page up キー、page down キーなどのキーと同様に機能します。

外付けテンキーで Num Lock をオンにすると、コンピューターの Num Lock ランプが点灯します。外付けテンキーで Num Lock をオフにすると、コンピューターの Num Lock ランプが消灯します。

作業中に外付けテンキーの Num Lock のオンとオフを切り替えるには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターではなく、外付けテンキーの **num lk** キーを押します。

タッチ패드およびキーボードの清掃

タッチ패드にごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

- △ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる場合があります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみのはがれて取り除きやすくなります。



9 ドライブ

取り付けられているドライブの確認

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、[スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

セカンダリ ハードドライブ（ドライブ D）が装備されているモデルの場合、オプティカル ドライブはドライブ E になります。システムに新しい USB ドライブなどを追加すると、次に使用可能なドライブ文字が割り当てられます。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブルドライブまたはコンピューターのコネクタピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティングシステムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

別売のオプティカルドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニールシートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルトコンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [今すぐ最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP 3D DriveGuard]の使用（一部のモデルのみ）

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することによって、ハードドライブを保護します。

- バッテリー電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリー電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

 **注記：** オプションのドッキング デバイス内のハードドライブや USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピューターのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ドライブが停止していることを示します。[Windows モビリティ センター]を使用して、ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかどうかを確認することができます。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

[HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、コンピューターは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 以下の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

 **注記：** [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合でも、コンピューターがバッテリー電源で動作しているときに完全なロー バッテリー状態になると、ハイバネーションを開始できるようになります。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定されたバッテリー アラームを有効にできない

コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアを使用すると、以下のタスクを実行できます。

- [HP 3D DriveGuard]の有効/無効を設定する。

 **注記：** [HP 3D DriveGuard]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。なお、Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP 3D DriveGuard] ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

ハードドライブの交換

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーションのときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを短く押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

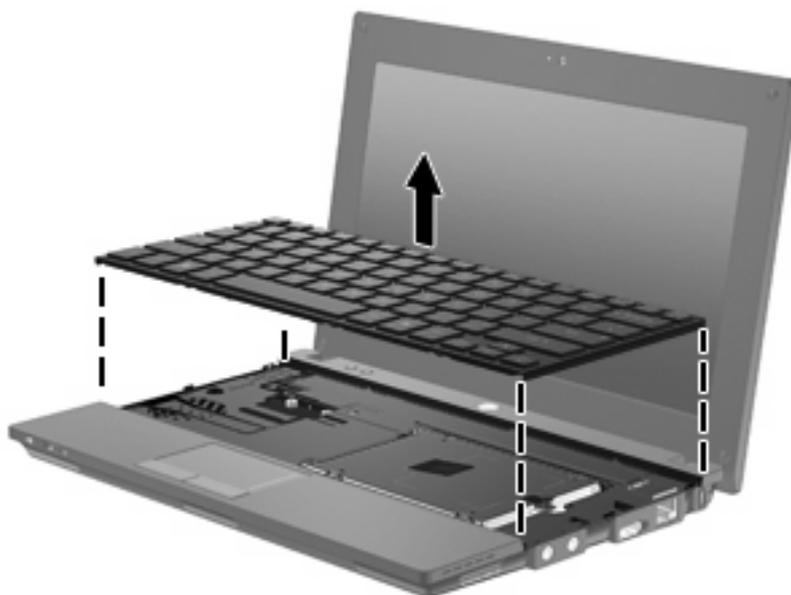
ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピューターから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返し、バッテリーベイが手前を向くようにして安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. コンピューターの裏面の縁から3つのネジを取り外します。

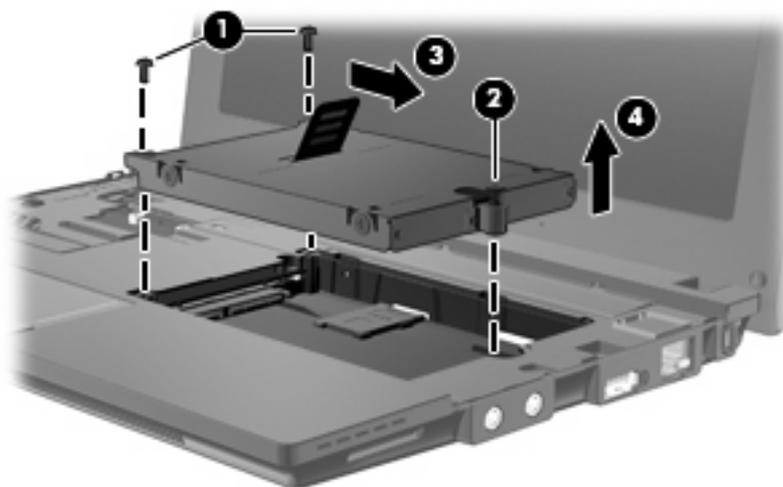


8. コンピューターのディスプレイがある方を上にし、前面が手前を向くようにしてディスプレイを開きます。

9. キーボードの上端部分を持ち上げ、コンピューターからキーボードを取り外してハードドライブが見えるようにします。



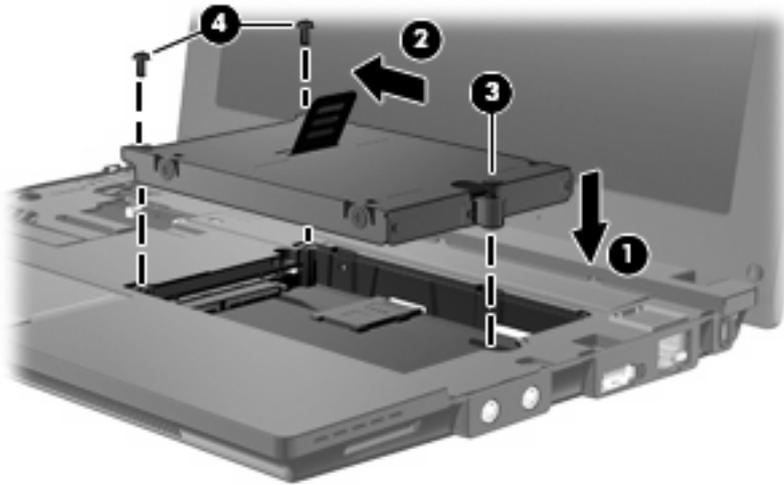
10. ハードドライブの2つのネジ (1) を取り外します。
11. ハードドライブの固定用ネジ (2) を緩めます。
12. ハードドライブ タブを右方向に引いて (3)、ハードドライブの固定を解除してから、ハードドライブをハードドライブ ベイから取り外します (4)。



ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. ハードドライブ タブを左方向に引いて (2)、ハードドライブを固定します。
3. ハードドライブの固定用ネジ (3) を締めます。

4. ハードドライブのネジ (4) を取り付けなおします。



5. キーボードトレイにキーボードの前端部を挿入し (1)、キーボードを所定の位置に押し込みます (2)。



6. コンピューター本体のディスプレイを閉じ、コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。

7. コンピューター裏面の縁の3つのネジを元の場所に取り付けます。



8. バッテリーを装着しなおします。

10 メモリ モジュール

お使いのコンピューターには、1つのメモリ モジュール コンパートメントがキーボードの下に装備されています。コンピューターのメモリを増設するには、メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

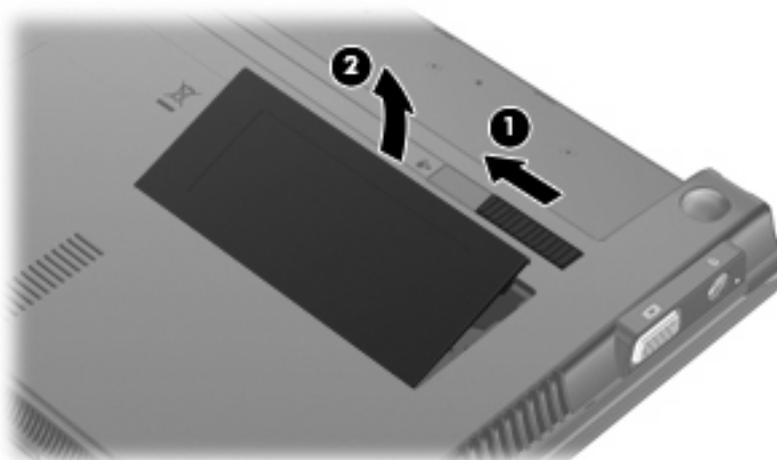
- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリーをコンピューターから取り外してください。
- △ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターの電源を切り、ディスプレイを閉じます。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを短く押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピューターから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリー ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。
7. コンピューターからバッテリーを取り外します。
8. バッテリー ラッチをもう一度スライドさせると、メモリ モジュール コンパートメント カバーが開きます。

9. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します (2)。



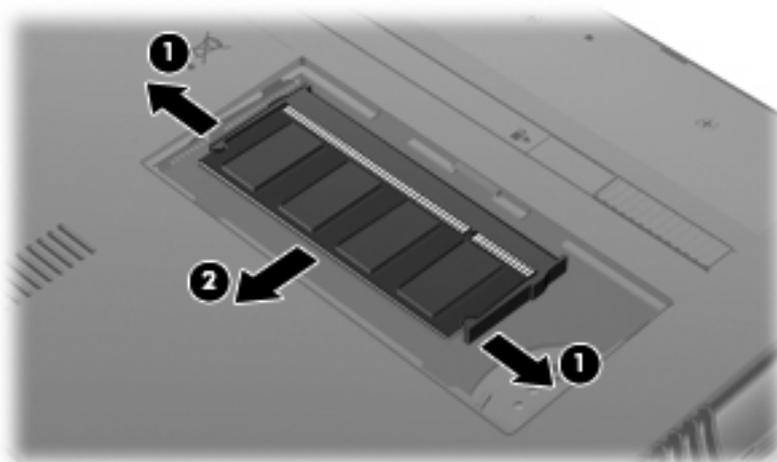
10. 次の要領で、既存のメモリ モジュールを取り外します。

- a. メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の留め具を左右に引っ張ります (1)。
メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



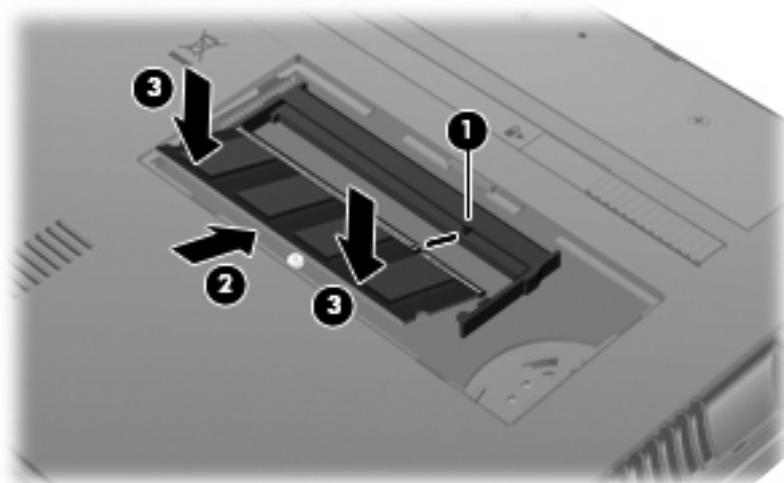
11. 次の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

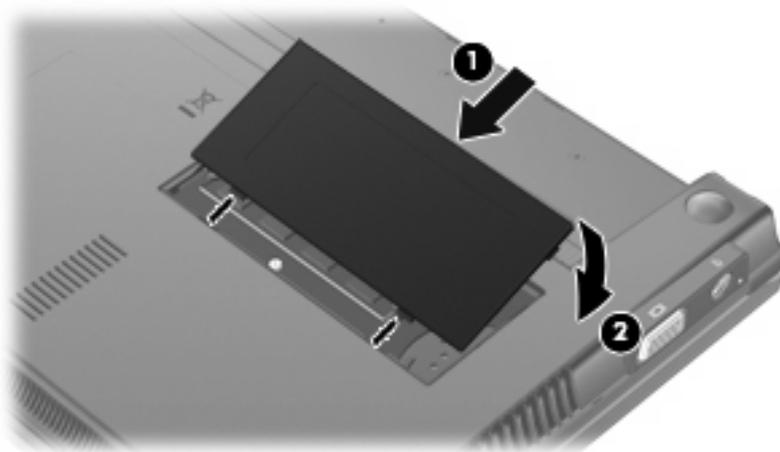
- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロットのタブ (1) を合わせます。
- b. メモリ モジュール スロットに収まるまで、メモリ モジュール コンパートメントの表面から 45° の角度でメモリ モジュールを差し込みます (2)。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます (3)。



12. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンパートメントのくぼみに挿入します (1)。
13. カチッと音がするまでカバーを押しこんで、固定します (2)。



14. バッテリーを装着しなおします。
15. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
16. コンピューターの電源を入れます。

11 Computer Setup

[Computer Setup]の開始

[Computer Setup]は、プリインストールされた ROM ベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。

 **注記：** このガイドに記載されている[Computer Setup]の一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

注記： [Computer Setup]ではポインティング デバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。

注記： [Computer Setup]では、USB レガシー サポート機能が有効な場合にのみ USB 接続された外付けキーボードを使用できます。

[Computer Setup]を開始するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか、再起動します。
2. オペレーティング システムが開く前で、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

[Computer Setup]の使用

[Computer Setup]での移動および選択

[Computer Setup]の情報および設定は、[File] (ファイル)、[Security] (セキュリティ)、[Diagnostics] (診断)、[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) の 4 つのメニューからアクセスできます。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。

[Computer Setup]はオペレーティング システムのユーティリティではないため、タッチパッドには対応していません。項目間の移動および項目の選択は、キー操作で行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 項目を選択するには、**enter** キーを押します。
- 開いているダイアログ ボックスを閉じて[Computer Setup]のメイン画面に戻るには、**esc** キーを押します。

- ヘルプを表示する場合は、**f1** キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、**f2** キーを押します。
2. **[File]**、**[Security]**、**[Diagnostics]**、または**[System Configuration]**メニューを選択します。
 3. 以下のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
 - 設定を保存しないで[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]→[Ignore changes and exit]**（変更を無視して終了）の順に選択します。画面の説明に沿って操作します。
 - 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]→[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択します。画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]の工場出荷時設定の復元

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に **f10** キーを押して、[Computer Setup]を起動します。
2. 矢印キーを使用して**[File]**（ファイル）→**[Restore defaults]**（初期設定に設定）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 確認ダイアログ ボックスが表示されたら、**f10** キーを押します。
4. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して**[File]→[Save changes and exit]**（変更を保存して終了）の順に選択します。画面の説明に沿って操作します。

選択または設定した内容は、コンピューターの再起動時に有効になります。

 **注記：** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティの設定は変更されません。

[Computer Setup]のメニュー

このセクションのメニューの表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されている[Computer Setup]の一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[File]（ファイル）メニュー

項目	設定内容
System information（システム情報）	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターの識別情報を表示します ● プロセッサ、キャッシュ サイズおよびメモリ サイズ、システム ROM についての仕様情報を表示します
Restore defaults（初期設定に設定）	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します（このコマンドを使用して工場出荷時の設定を復元しても、パスワードおよびセキュリティ関連の設定は変更されません）

項目	設定内容
Ignore changes and exit (変更を無視して終了)	そのセッションで行った変更をキャンセルします。次に[Computer Setup]を終了し、コンピューターを再起動します
Save changes and exit (変更を保存して終了)	そのセッションで行った変更を保存します。次に[Computer Setup]を終了し、コンピューターを再起動します。保存した変更は、コンピューターが再起動されると有効になります

[Security] (セキュリティ) メニュー

 **注記：** このセクションに記載されているメニュー項目の一部は、お使いのコンピューターではサポートされない場合があります。

項目	設定内容
Setup password (セットアップパスワード)	セットアップパスワードを入力、変更、または削除します
Power-on password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します
Password options (パスワードオプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● 厳重なセキュリティを有効/無効にします ● コンピューターの再起動時のパスワード要求を有効/無効にします
DriveLock passwords (DriveLock パスワード)	<ul style="list-style-type: none"> ● システム内のハードドライブの DriveLock (ドライブロック) を有効、変更、または無効にします ● 別売のマルチベイ ハードドライブの DriveLock を有効、変更、または無効にします <p>注記： コンピューターを再起動するのではなく、電源を入れて[Computer Setup]を開いた場合にのみ、DriveLock の設定値にアクセスできます</p>
System IDs (システム ID)	コンピューターの、ユーザー定義のアセット タグおよびオーナーシップ タグを入力します
Disk Sanitizer (ディスク クリーナー)	<p>メイン ハードドライブにあるすべてのデータを消去する[Disk Sanitizer]を実行します。以下のオプションがあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Fast (高速) : 消去サイクルを 1 度実行します ● Optimum (最適) : 消去サイクルを 3 度実行します ● Custom (カスタム) : 消去サイクルの実行回数をリストから選択できます <p>注意： ディスク クリーナーを実行すると、メイン ハードドライブのデータは完全に消去されます</p>

[Diagnostics] (診断) メニュー

項目	設定内容
HDD Self-Test Options (ハードドライブの自己診断オプション)	システム内の任意のハードドライブ、または任意の外付けマルチベイ ハードドライブに対する包括的な自己診断テストを実行します
Memory Check (メモリ チェック)	システム メモリの包括的なチェックを実行します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

 **注記：** 下記のシステム コンフィギュレーション メニューの一部は、モデルによってはサポートされない場合があります。

項目	設定内容
Language (言語)	[Computer Setup]の使用言語を変更します
Boot options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none">起動時の f9、f10 および f12 の遅延 (キー入力を待つ時間) を設定しますCD-ROM のブートを有効/無効にしますフロッピーディスクのブートを有効/無効にします内蔵ネットワーク アダプターのブートを有効/無効にしますマルチブートを有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスのブート順序を設定できますExpress Boot ポップアップの遅延を秒単位で設定しますブート順序を設定します<ul style="list-style-type: none">1st boot device (1 番目のブート デバイス) : USB CD-ROM2nd boot device (2 番目のブート デバイス) : USB フロッピー3rd boot device (3 番目のブート デバイス) : USB SuperDisk4th boot device (4 番目のブート デバイス) : コンピューター本体のハードドライブ5th boot device (5 番目のブート デバイス) : USB ハードドライブ6th boot device (6 番目のブート デバイス) : ネットワーク コントローラー
Device configurations (デバイス コンフィギュレーション)	<ul style="list-style-type: none">fn キーと左側の ctrl キーの機能を入れ替えますUSB レガシー サポート機能を有効/無効にします。USB レガシー サポートを有効にすると、以下のことが可能になります<ul style="list-style-type: none">オペレーティング システムが実行されていなくても、USB 対応キーボードを[Computer Setup]で使用できますコンピューターの USB ポートに接続されているハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ、およびオプティカル ドライブを含めた、ブート可能な USB デバイスからコンピューターを起動することができますBIOS DMA データ転送を有効/無効にします外部電源使用時のシステムのファンを有効/無効にします

項目	設定内容
Built-in device options (内蔵デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● データ実行防止 (DEP) を有効/無効にします ● LAN の省電力モードを有効または無効にします ● SATA ネイティブ モードを有効/無効にします ● デュアル コア CPU を有効/無効にします ● HDD 変換モードを有効/無効にします ● 内蔵無線 LAN デバイスの無線通信を有効/無効にします ● 内蔵 Bluetooth デバイスの無線を有効/無効にします ● ネットワーク インターフェイス コントローラー (NIC) を有効/無効にします ● LAN/無線 LAN の切り替えを有効/無効にします ● ウェイク オン LAN を有効/無効にします ● 内蔵カメラ (Web カメラ) を有効/無効にします
Port options (ポート オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● USB ポートを有効/無効にします ● ExpressCard スロットを有効/無効にします

12 バックアップおよび復元

情報を保護するには、[バックアップと復元センター]を使用して、個々のファイルやフォルダーをバックアップしたり、ハードドライブ全体をバックアップしたり（一部のモデルのみ）、システムの復元ポイントを作成したりします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用して、コンピューターの内容を復元することができます。

Windows Vista®には、以下の高度なバックアップおよび復元オプションが用意されています。

- 個々のファイルやフォルダーのバックアップ
- ハードドライブ全体のバックアップ（一部のモデルのみ）
- 自動バックアップのスケジュールの設定（一部のモデルのみ）
- システムの復元ポイントの作成
- 個々のファイルの復元
- 以前の状態へのコンピューターの復元
- リカバリ ツールによる情報の復元

 **注記：** これらの手順については、[ヘルプとサポート]を参照してください。

バックアップ

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。ソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐに初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

バックアップを行う場合は、以下の点に注意してください。

- 個人用ファイルを[ドキュメント]フォルダーに保存して、定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショットを撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくことで時間を節約できます。

スクリーンショットを作成するには、以下の操作を行います。

1. 保存する画面を表示させます。
2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。
アクティブなウィンドウのみをコピーするには、**alt + fn + prt sc** キーを押します。
画面全体をコピーするには、**fn + prt sc** キーを押します。
3. ワードプロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[編集]→[貼り付け]の順に選択します。
画面のイメージが文書に追加されます。
4. 文書を保存します。
 - ディスクにバックアップする場合は、次の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+R (2層記録 (DL) 対応)、DVD-R、DVD-R (2層記録 (DL) 対応)、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、使用する別売の外付けオプティカルドライブの種類によって異なります。

 **注記：** DVD および 2層記録 (DL) 対応 DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。

- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてから別売の外付けオプティカルドライブに挿入します。

[バックアップと復元センター]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

 **注記：** お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度に応じて、バックアップ処理には 1 時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元センター]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って、コンピューター全体 (一部のモデルのみ) またはファイルをバックアップします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

復元

システムに障害が発生した場合は、**f11** リカバリ ツールを使用して、初期状態のハードドライブのイメージを復元します。

注記： このイメージには、工場出荷時にインストールされていた Windows オペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムが含まれます。

注意： **f11** リカバリ ツールを使用すると、ハードドライブの内容が完全に消去され、ハードドライブが再フォーマットされます。コンピューター上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システム、HP プログラム、およびドライバーは、**f11** リカバリ ツールにより再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェアは、別途、再インストールする必要があります。個人用ファイルはバックアップから復元する必要があります。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 可能であれば、HP 復元用パーティションがあることを確認します。HP 復元用パーティションを確認するには、**[スタート]→[コンピュータ]**の順にクリックします。

注記： HP 復元用パーティションが削除されている場合は、Windows Vista オペレーティング システムのディスクおよび『Driver Recovery』（ドライバー リカバリ）ディスク（別売）を使用して、オペレーティング システムおよびプログラムを復元する必要があります。詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[サポート窓口]**の順に選択して、テクニカル サポートにお問い合わせください。

3. コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。
4. [Press **f11** for recovery]というメッセージが表示されている間に、**f11** キーを押します。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

注記： この他にも、Windows Vista には、オペレーティング システムから実行できるリカバリ ツールが用意されています。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

注記： コンピューターを起動できない場合は、Windows Vista オペレーティング システムの DVD を購入してコンピューターを再起動し、オペレーティング システムを修復する必要があります。詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[サポート窓口]**の順に選択して、テクニカル サポートにお問い合わせください。

索引

- A**
AC アダプター
位置 10
接続 15
- B**
Bluetooth
デバイス 27
ラベル 11
- C**
Caps Lock ランプ、位置 3
CD
装着 73
挿入 45
ドライブ 43, 72
取り出し 48, 74
Certificate of Authenticity ラベル 11
Computer Setup
[Diagnostics] (診断) メニュー 99
DriveLock パスワード 58
[File] (ファイル) メニュー 98
[Security] (セキュリティ) メニュー 99
[System Configuration] (システムコンフィギュレーション) メニュー 100
移動および選択 97
厳重なセキュリティ 63
工場出荷時設定の復元 98
セットアップパスワード 53
デバイス セキュリティ 63
電源投入時パスワード 55
- D**
[Diagnostics] (診断) メニュー 99
DriveLock パスワード
解除 62
設定 59
説明 58
入力 60
変更 61
DVD
装着 73
挿入 45
地域設定の変更 46
地域設定 46
ドライブ 43, 72
取り出し 48, 74
- E**
esc キー、位置 5
- F**
[File] (ファイル) メニュー 98
fn キー
位置 5
- H**
HP 3D DriveGuard 88
HP モバイル ブロードバンド 無効化 32
HP モバイル ブロードバンド モジュール 32
- M**
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 11
- N**
Num Lock、外付けテンキー 83
- Q**
QuickLock ホットキー 81
- R**
RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、位置 6
- S**
SD カード 77
SD カード リーダー 6, 77
[Security] (セキュリティ) メニュー 99
SIM
装着 32
取り出し 33
[System Configuration] (システムコンフィギュレーション) メニュー 100
- U**
USB ケーブル、接続 70
USB コネクタ
位置 6, 7
確認 70
電源供給機能付き 72, 73
USB デバイス
接続 70
説明 70
停止 71
取り外し 71
USB ハブ 70
USB レガシー サポート 71, 97, 100
- W**
Web カメラ
プロパティ、調整 49
Web カメラ ランプ、位置 8, 37

Windows アプリケーション キー、
位置 5
Windows ロゴ キー、位置 5

あ

アイコン
ネットワーク ステータス 27
無線 27
アプリケーション キー、
Windows 5
暗号化 30
アンテナ 9

い

イヤフォン 37
インターネット接続のセットアッ
プ 29

お

オーディオ機能
確認 40
オーディオ出力（ヘッドフォン）コ
ネクタ 6, 37
オーディオ デバイス、外部接
続 40
オーディオ入力（マイク）コネク
タ 6, 37
オプティカル ディスク
使用 43
装着 73
挿入 45
取り出し 48, 74
オプティカル ドライブ 43, 72
オペレーティング システム
Microsoft Certificate of
Authenticity ラベル 11
プロダクト キー 11
温度 24
音量キー 38
音量、調整 38

か

書き込み可能メディア 12
確認、オーディオ機能 40
各部
前面 5
その他のハードウェア 10
左側面 7
表面 1

右側面 6
裏面 8
画面の輝度のキー 81
画面表示、切り替え 81
管理者パスワード 52

き

キー
esc 5
fn 5
Windows アプリケーション 5
Windows ロゴ 5
スピーカーの音量を下げる 82
テンキー 5
ファンクション 5
キーボードのファンクション キー、
位置 80
企業無線 LAN への接続 31
規定情報
規定ラベル 11
無線認定/認証ラベル 11

く

クイック ローンチ ウェブ ボタン、
位置 4
クイック ローンチ ウェブ ランプ、
位置 3
クイック ローンチ メール、位
置 4
クイック ローンチ メール ランプ、
位置 3
空港のセキュリティ装置 86

け

ケーブル
USB 70
厳重なセキュリティ 63, 99

こ

公共無線 LAN への接続 31
コード、電源 10
コネクタ
RJ-45（ネットワーク） 6
USB 6, 7, 70
オーディオ出力（ヘッドフォ
ン） 6, 37
オーディオ入力（マイク） 6,
37
外付けモニター 7, 42
電源 7

コンピューターの移動 24
コンピューターの電源切断 25
コンピューターの持ち運び 11

さ

サービス タグ 9, 10

し

システム情報 98
システム情報ホットキー 5
システムの応答停止 25
システム ファン 100
シャットダウン 25
シリアル番号、コンピュー
ター 9, 10

す

スイッチ
無線 6
スクロール ゾーン、タッチパッ
ド 2
スピーカー、位置 6, 8
スピーカー 37
スリープ キー 81
スリープ
開始 12
終了 12
スロット
セキュリティ ロック ケーブ
ル 6

せ

製品名および製品番号、コンピュー
ター 9, 10
セキュリティ、無線 29
セキュリティ ロック ケーブル用ス
ロット
位置 6
接続、外部電源 15
セットアップ、コンピューター 1
セットアップ ユーティリティ
(Computer Setup)
[File] (ファイル) メ
ニュー 98
[Security] (セキュリティ) メ
ニュー 99
[System Configuration] (システ
ム コンフィギュレーション)
メニュー 100

移動および選択 97
工場出荷時設定の復元 98
節約、電源 23

そ

外付けオーディオ デバイス、接続 40
外付けドライブ 72
外付けモニター コネクタ
位置 7
ソフトウェア
ディスク クリーンアップ 87
ディスク デフラグ 87

た

タッチパッド
位置 2
使用 79
スクロール ゾーン 2
ボタン 2

ち

地域コード、DVD 46

つ

通気孔、位置 7, 9

て

ディスク クリーンアップ ソフトウェア 87
ディスク デフラグ ソフトウェア 87
ディスプレイ
各部 8
画像、切り替え 81
画面の輝度のキー 81
デバイス セキュリティ 63
テンキー、外付け
Num Lock 83
使用 83
テンキー、内蔵
位置 82
キーの機能の切り替え 83
使用 83
有効化と無効化 83
電源コード、確認 10
電源コネクタ、位置 7
電源プラン 14
電源ボタン、位置 4

電源ランプ
位置 3
電源
接続 15
節約 23

と

動画、録画 8
動画
再生 46
ドライブ
オプティカル 43, 72
外付け 72
ハード 72, 91
ブート順序 100
フロッピーディスク 72
マルチベイ 72
ランプ 5, 88
ドライブ メディア 12

な

内蔵テンキー
位置 5
内蔵マイク
位置 8, 37

ね

ネットワーク ステータス アイコン 27

は

ハードウェア、確認 1
ハードドライブ
HP 3D DriveGuard 88
外付け 72
取り付け 91
ハイバネーション
開始 13
終了 13
パスワード
DriveLock 58
管理者 52
セットアップ 53
電源投入時 55
ユーザー 52
バックアップ 102, 103
バッテリー ゲージの調整 21
バッテリー充電
最長化 19
バッテリー電源 16

バッテリー

温度 24
確認 10
交換 24
再充電 23
充電 18, 21
処理 24
節電 23
挿入 17
調整 21
取り外し 17
保管 24
バッテリー ベイ 9, 11
バッテリー ランプ 18
バッテリー リリース ラッチ
位置 9
ハブ 70

ひ

ビデオ伝送方式 81

ふ

ファイアウォール 30
ファンクション キー、位置および名称 5
ファンクション キー
[QuickLock]を起動する 81
画面の輝度を上げる 81
画面の輝度を下げる 81
画面を切り替える 81
スピーカーの音を消す 82
スピーカーの音量を上げる 82
スリープを開始する 81
ブート オプション 100
ブート順序 100
復元 102, 105
プロジェクター、接続 42
プロダクトキー 11
フロッピーディスク ドライブ 72

へ

ベイ、バッテリー 11
ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ 37
ヘッドフォン 37

ほ

ポインティング デバイス
カスタマイズ 79

ボタン

- クイック ローンチ ウェブ 4
- クイック ローンチ メール 4
- タッチパッド 2
- 電源 4

ま

- マイク、内蔵 8, 37
- マウス、外付け
 - オプションの設定 79
 - 接続 79
- マルチベイ 72
- マルチメディアカード 77
- マルチメディア コンポーネント、
確認 36
- マルチメディア ソフトウェア 39

み

- ミュート（消音）ボタン 38

む

- 無線 LAN デバイス 11, 27, 29
- 無線 LAN のセットアップ 29
- 無線 LAN への接続 31
- 無線 LAN ラベル 11
- 無線 WAN デバイス 32
- 無線アイコン 27
- 無線アンテナ 9
- 無線コントロール
 - オペレーティング システ
ム 28
 - ボタン 28
- 無線スイッチ 6, 28
- 無線認定/認証ラベル 11
- 無線ネットワーク（無線 LAN）
 - 企業無線 LAN への接続 31
 - 公共無線 LAN への接続 31
 - セキュリティ 29
 - 接続 31
 - 動作範囲 31
 - 必要な機器 29
- 無線ランプ 6, 28

め

- メディア カード
 - 挿入 77
 - 停止 78
 - 取り出し 78
- メモリ モジュール コンパートメン
ト、位置 9

メモリ モジュール

- 取り付け 95
- 取り外し 95

メンテナンス

- ディスク クリーンアップ 87
- ディスク デフラグ 87

も

- モニター コネクタ、外付け 7
- モニター、接続 42

ゆ

- ユーザー パスワード 52

よ

- 読み取り可能メディア 12

ら

- ラッチ、バッテリー リリース 9
- ラベル
 - Bluetooth 11
 - Microsoft Certificate of
Authenticity 11
 - 規定 11
 - サービス タグ 9, 10
 - 無線 LAN 11
 - 無線認定/認証 11
- ランプ
 - Caps Lock 3
 - Web カメラ 8, 37
 - クイック ローンチ ウェブ 3
 - クイック ローンチ メール 3
 - 電源 3, 7
 - ドライブ 5, 88
 - 無線 6

り

- リリース ラッチ、バッテリー 9

れ

- レガシー サポート、USB 97,
100

